

KODAK
LICENSED PRODUCT

M

Y

C

KODAK Gray Scale



官刻

普救類方

卷之七

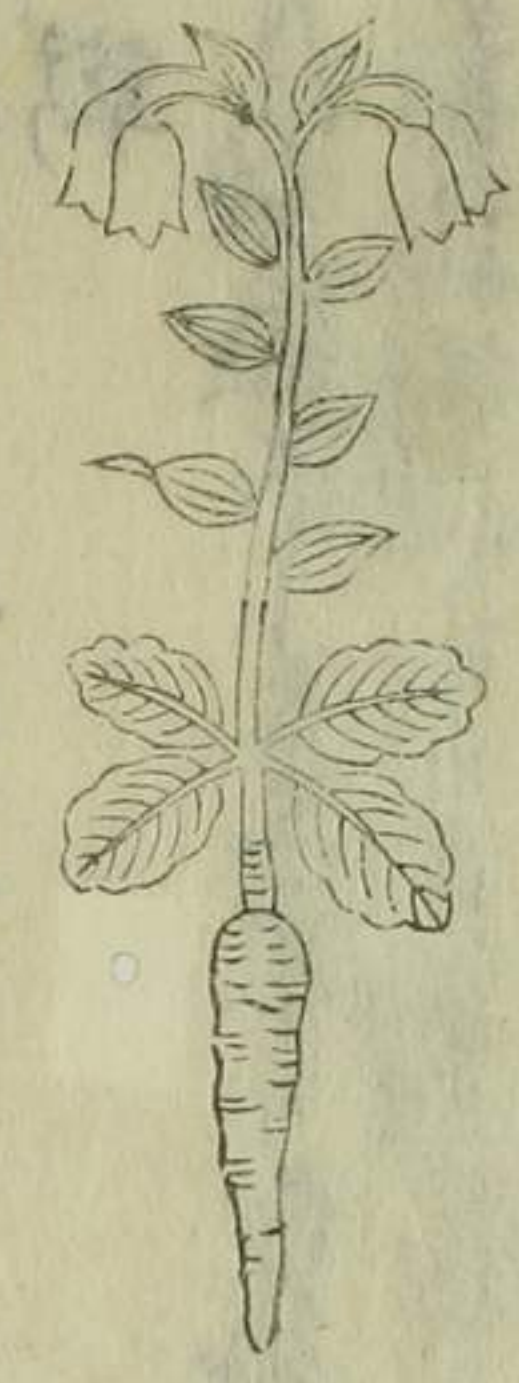
9
1064
10



沙参

和名とれんえん づらひんえん

二月小苗成出〜葉小き葉に似たり秋に
成て葉のまこと二葉茎の末より葉柄の
葉より似て葉のより厚むらさきの小葉を
用くはさ葉もむねの形透小似たり根葉より
白き汁物冬にかりてまきさ葉は結ひ中
細く子あり砂地〜根長く葉はそ
い短〜とく人參に似たり九月小根成
たり生を多り用ゆ



萎蕤

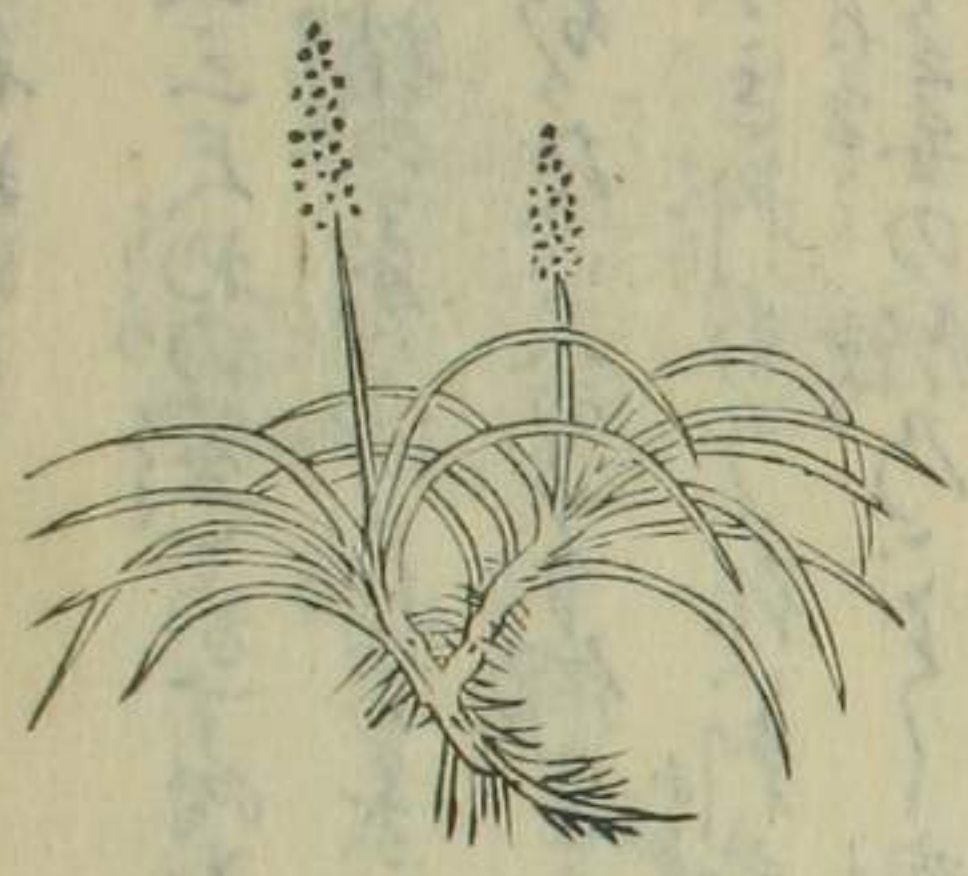
和名あまごころ

まき〜二葉葉ハ竹葉に似てやま〜なり
四月成ら白くを根ひ〜まき小葉の花の如
実ハ支方〜つぼりり〜まき根ハ地
葉小似くを落〜九月十月根成り葉
〜とく見乾〜用也蜜にひ〜とく
蒸〜葉子〜もかす〜〜鉄といひ



知母

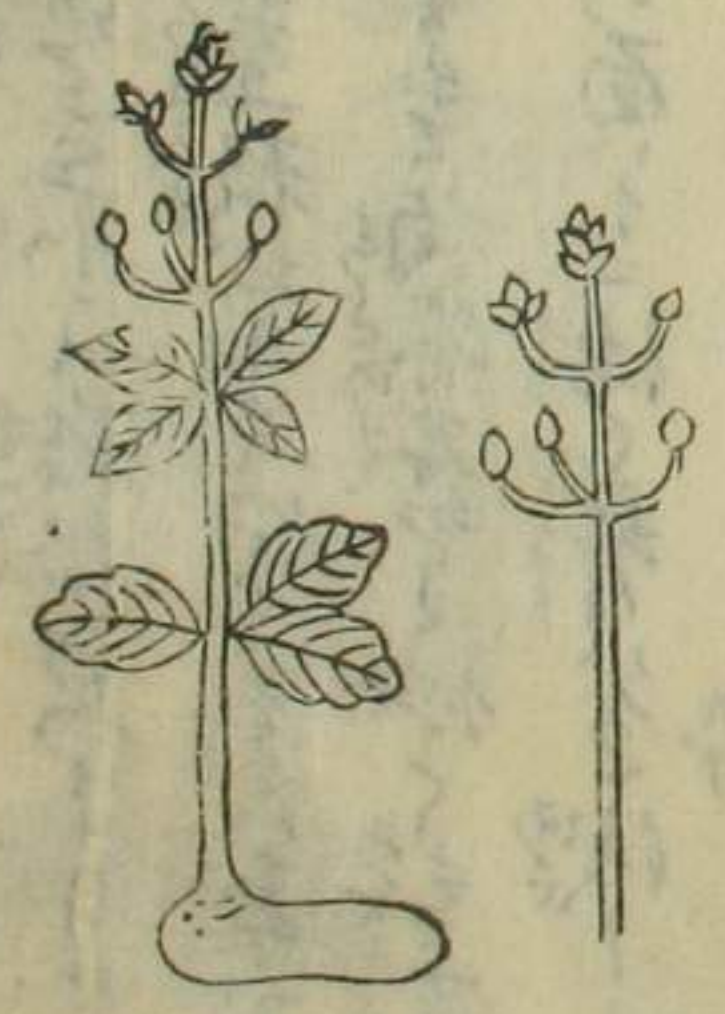
まき〜瓜出は葉小似〜まき〜かかり夏
細〜葉をぬさ〜葉の小〜葉を用
むす〜瓜に付く根の〜まき八月は葉
むす〜瓜を玉〜有小根を根の上
毛多〜毛をま〜まき〜又ハ根を根用
鉄瓜と〜病小〜り制法多〜



天麻

和名ぬすひまのわ

茎の形子の葉〜まき〜葉の〜まき
〜一茎三葉なりまの〜葉も葉に似て
葉の〜ら〜根葉の〜赤〜花実の形
續随子に少〜似〜り遠〜るハ赤〜葉
のま〜り〜根の形瓜の〜り〜九月
比根をを蒸〜乾〜製用也蒸〜まき
〜り〜か〜と〜



蒼朮 和名おけら

根の長さ二三尺の莖をすすめ葉を
抱きて生る梢の葉は少く葉の葉に似
て莖の本よりわたり又わたり何れも
歯のどく小き刺ありたに刺刺に
似く根は少く葉の形乃こく肉
油多し一九月の比根は元汁のふ
つりこく多し



貫衆 和名ミソのを

山陰の水辺に生る根は一寸五分
一握より莖短くわたり葉は四方に
對して生る葉は狭く細く葉の
背より葉の面より生る背は短く根
に葉のどく根はわたり葉は短く
く色は黒くわたり



遠志 和名すいめろ

大葉小葉の二種あり今小葉の物
多し莖の長さ六七寸一握より莖
短くわたり葉は狭く葉の葉に似
て葉の葉は似く葉の中よりわたり
九月の比根は元汁のふつりこく
多し



淫羊藿 和名いりきり

一握より莖短くわたり葉は狭く
葉の葉は似く葉の中よりわたり
小葉は細く葉は狭く葉の葉に似
て葉の葉は似く葉の中よりわたり
七月の比根は元汁のふつりこく
多し



黃連

此草二種あり何れも苗の長さ一寸一握ハ
葉菊葉に似て細かり一握ハ石を割ル
不似て小く何れも葉の内葉より少く細
のき細なる葉は結ぶ葉の内葉より少く細
の形鷹の爪に似て法に黄連に似たり上葉也
多き者中葉より少く細なり一七
月根はより發せ去まざる月白病
小より製法多し



韭葉柴胡

根は有りと根葉又竹葉に似たり二葉
を上下と何れも二葉二葉七月葉
る少くを瓜ひくさ細かり瓜は結ぶ
葉の内より少く二葉の外注解に
す九月の末根はより少く多し月白又
川葉柴胡と云ふもの柴胡に似たり
へん



竹葉柴胡



防風

和名やまねん 冬に花をうつ

二月小葉は出せると二尺葉は胡蘿蔔
の葉に似て六月細なる白き根はひくさ
蛇麻子の下に実成結ぶ根は入冬に似て太
く長し莖竹の如く葉の葉のどくけり根
多し石防風の如く葉は多し葉の葉小く
根やせくさく又多し一葉より九月
根をより割る多し月白



羌活 和名きりぎりす

二月に苗成す草のまき三三又形うごはく
似て葉廣くやうかがり二年の内をさか
まはさるるがうて若くはうのびた花をさす
をの形胡蘿蔔のたふゆる二年の根を
九月十月小くはさるるがうて十月三年に
かりて葉をさせば根腐りて葉用はるる
るものなり



土當歸

根條小形状なり羌活の往より注
解をさるる葉羌活に似る根がく皮思
く肉白く青氣ありく當歸白芷の
ごとく十月小根成すう對にさるるがう



升麻 和名あしげ

二月に苗成す草のまき三三又葉ハ
本槿葉小似る葉くまらぬ葉ハ皆
三根小出をい栗の穂に似たり白く冬有
に生る七月細るる葉取むす根を姜に
似くさるるがうて葉多し九月小
根をさるるがうて葉多し九月小



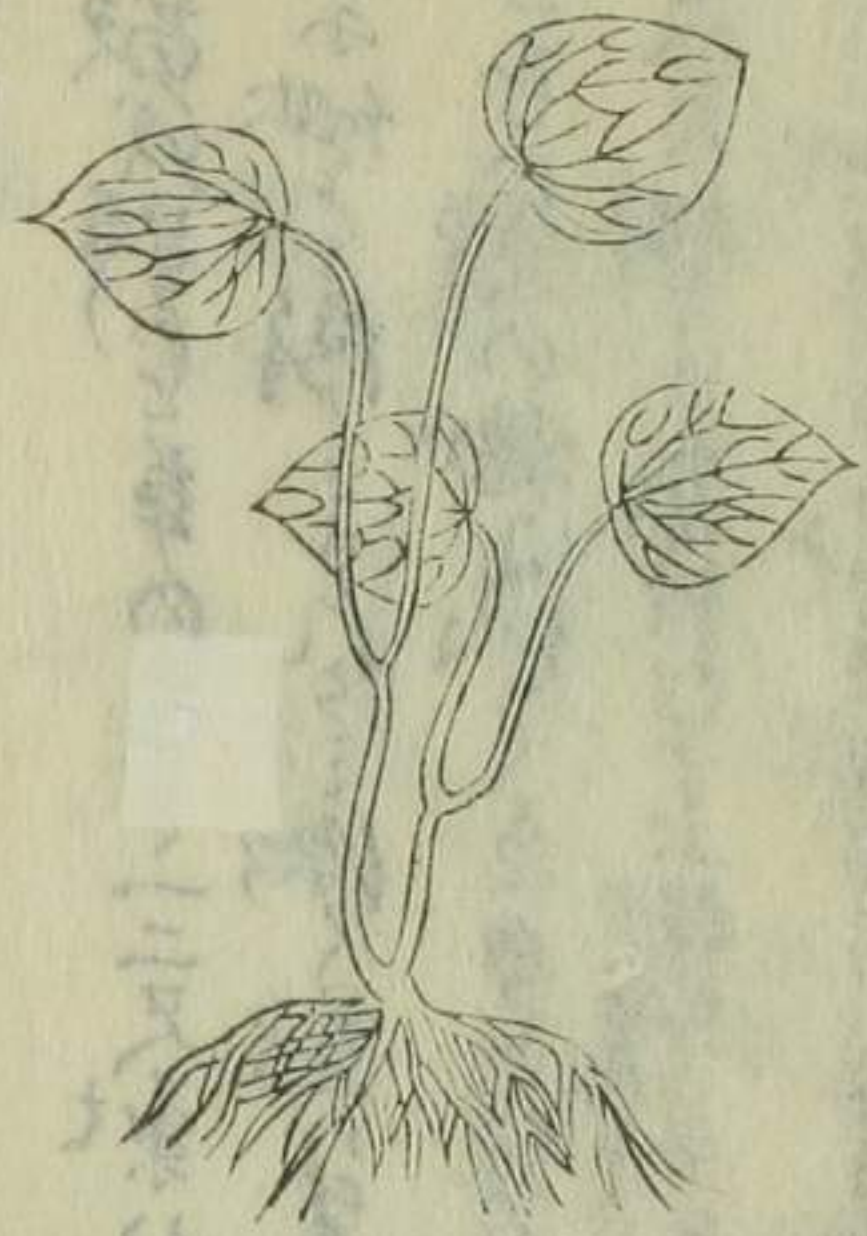
山慈姑

正月に葉成す二月の初に根葉ハ
仙葉小似る細く細く二月小根成
ひく百合を少く小くも葉葉かり
根慈姑のくもさるるがうて色く
如く四月のまき根成皮をさす
葉り用也



細辛 和名さんまら

莖葉に根より加茂葉ふくむて葉
大く実りすなり根かに少く鈴の如
かり葉のむとゆれ細く葉根十條
あり味辛く香気つる一夏をまに
葉枯れ八九月小根成り流すに根
日干し土をのこさざる用也



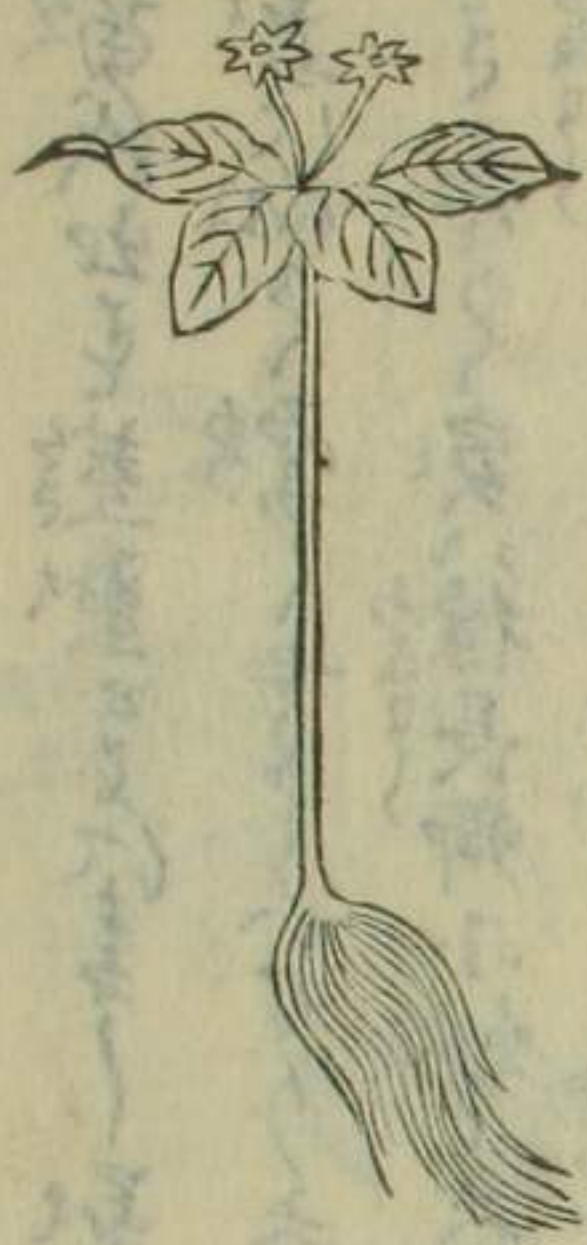
杜衡 和名かんあひ

細辛に似く葉の飛馬蹄の如く根ハ
合く細辛の如く香気つるありむも
細辛の如く一夏をまに八月小
根成り用也



及己 和名あかりまら

二月に一莖とせし一葉一尺餘莖の
葉は葉あり五月の比葉のるよりゆ
細きを二條づつ根ハ細辛に如く二月
に根成り用也



徐長卿 和名あかり

物差に苗成り葉ハ柳に似く細く尖
り葉又いと葉つ射きて生る八月比
合花のつがこのころかり葉成り八
月葉成り葉のつがこのころ根成り用
也根ハ細辛に似く大く短し



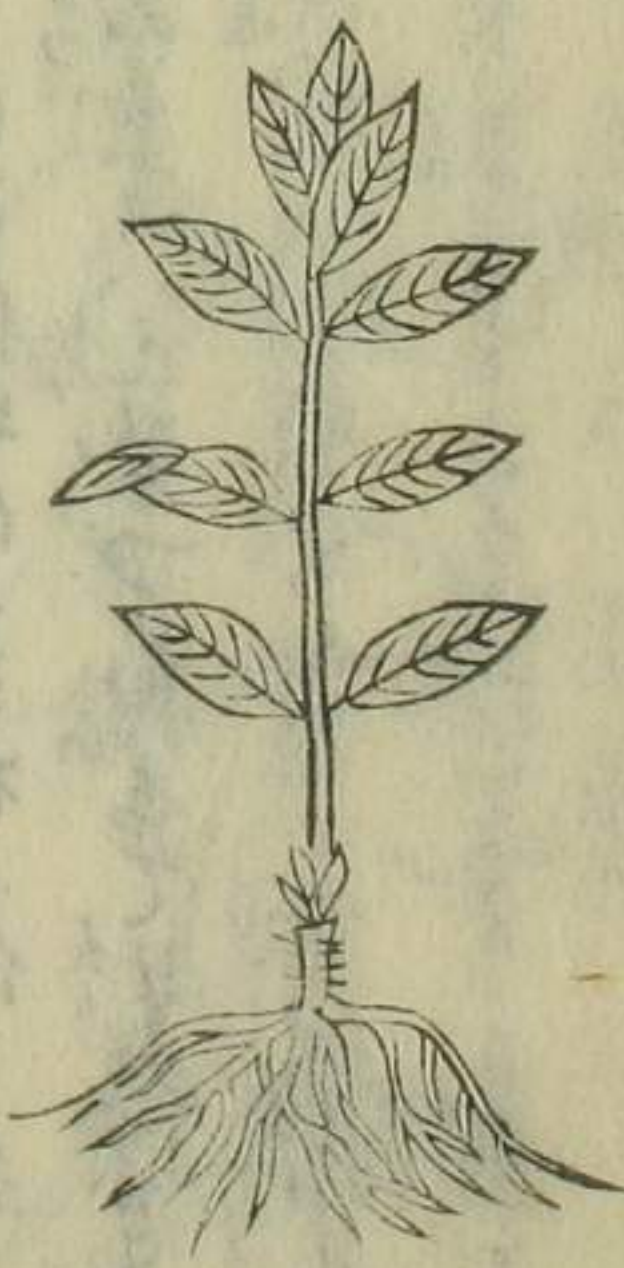
白微 和名 まるむかしの

二月苗成出と蓋葉を以てまき一葉
柘の葉に似て厚く中よりかきりて
月赤き花をく実、徐長卿小似て也
根を徐長卿のど〜八月に根成り
ち月少



白前

二月小苗をお寸草の根白微小似て
細く根を食く白微のど〜二月分
根成り用由甘草水一液ひ〜
多かり用りて〜



當歸

大葉小葉の二種ありよふ葉の方気味
よろ〜二月に苗成出〜葉の色緑り
小葉まじりて〜に多き七八月苗成
のこ〜を成ひ〜薄葉をかり九月
此根成り〜は一夜ひ〜
干〜焙り用由病少り〜と尾と
ち月少



川芎

二月小苗成を寸草の形出小似て葉の
ち〜ま〜形ち芥小似て〜細く
あり七八月〜に〜根成ひ〜
麻の木のど〜八月の末根を掘むすひ
〜付極り〜用由



義茂

三月に苗成出守草の形耐命よく似
そ葉少く廣く六月小葉少かりを
くも後成なりて出根耐命よりなり
鶏踏るとの卵のごとく九月小葉りて粗皮を
けつりそよく蒸して日干し一こまごま
用ゆ



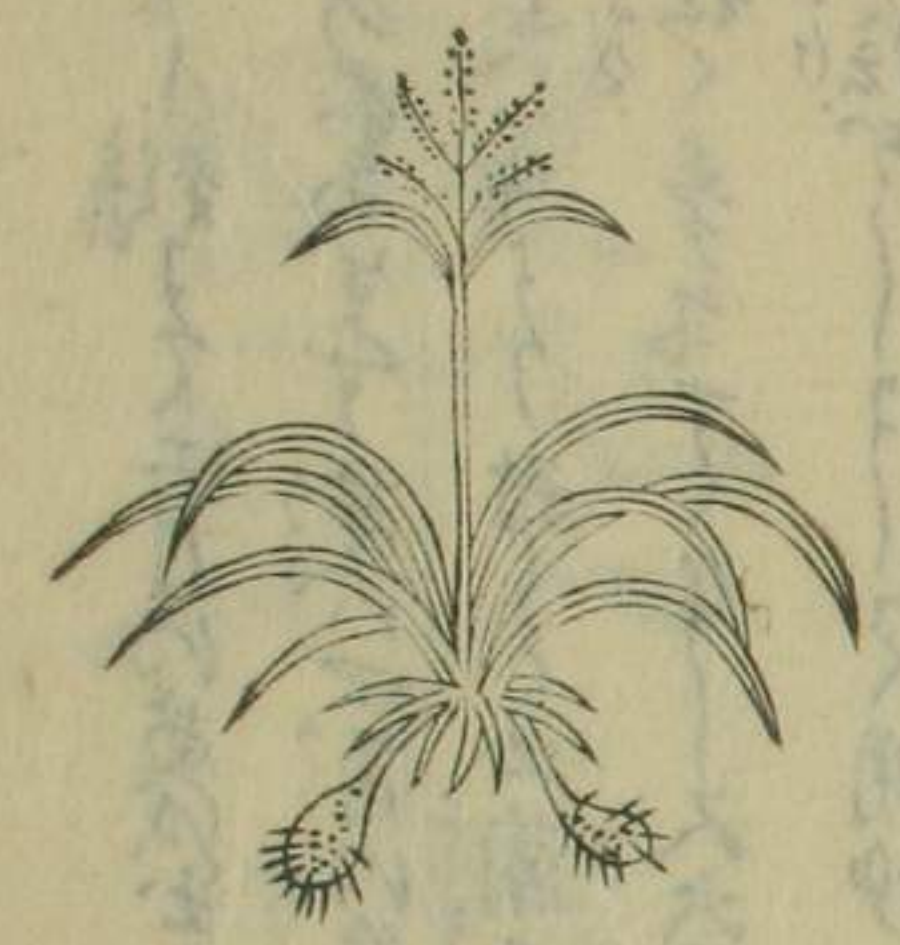
三稜

二月種あり何れも形大概同く
生るるまじく六月葉少かりを
わり六月小葉り茎又小葉のひま
赤葉のどはたがら成はひく茎も二稜
して割りしるごとく根塊をむすびる
形附子のごとく小葉て三角なり六月
根成り破ちて煮て多り用ゆ



香附子

草の形莖葉花より之種小似く甚小
とがかり根は蔓に久ふ似く堅く八月小
葉り日干し一白臼りて杵を臼用
鉄を馬ぐ



蘭草

和名あり

二月小苗成出守草のよと二三尺茎固く
葉に渥葉あり葉小又をかりて七月
比こまごまをむすび六月小葉成は
陰乾ありて用ゆ生の葉より乾して
葉を分りて煮り



雞蘇 和名マウのうらら

三月小苗成す多し水邊小生
草の形葉後より細く葉少く
おもてうららと云ふは葉小似ら
香あり葉も花も紫穂より六
七月小葉成すより日に乾く



蒼蘭

五月苗を出し葉はさき二尺葉は菊
小似く葉細かるこれより多く葉
のうららおもてさき多く葉のうらら
八月此葉成り細かる花成りさき
のうらら葉成りすよ八九月小葉成り
葉成りすより日に乾く



茵陳蒿 和名マウのうらら

二月小葉成す時多し水邊小生
草の形葉後より細く葉少く
おもてうららと云ふは葉小似ら
香あり葉も花も紫穂より六
七月小葉成すより日に乾く



青蒿

春苗成す草のうらら天より葉
葉成りた茵陳より似て多し
七月より葉成り花をひく粟粒
のうらら葉成りすよ八九月小葉成り
葉成りすより日に乾く



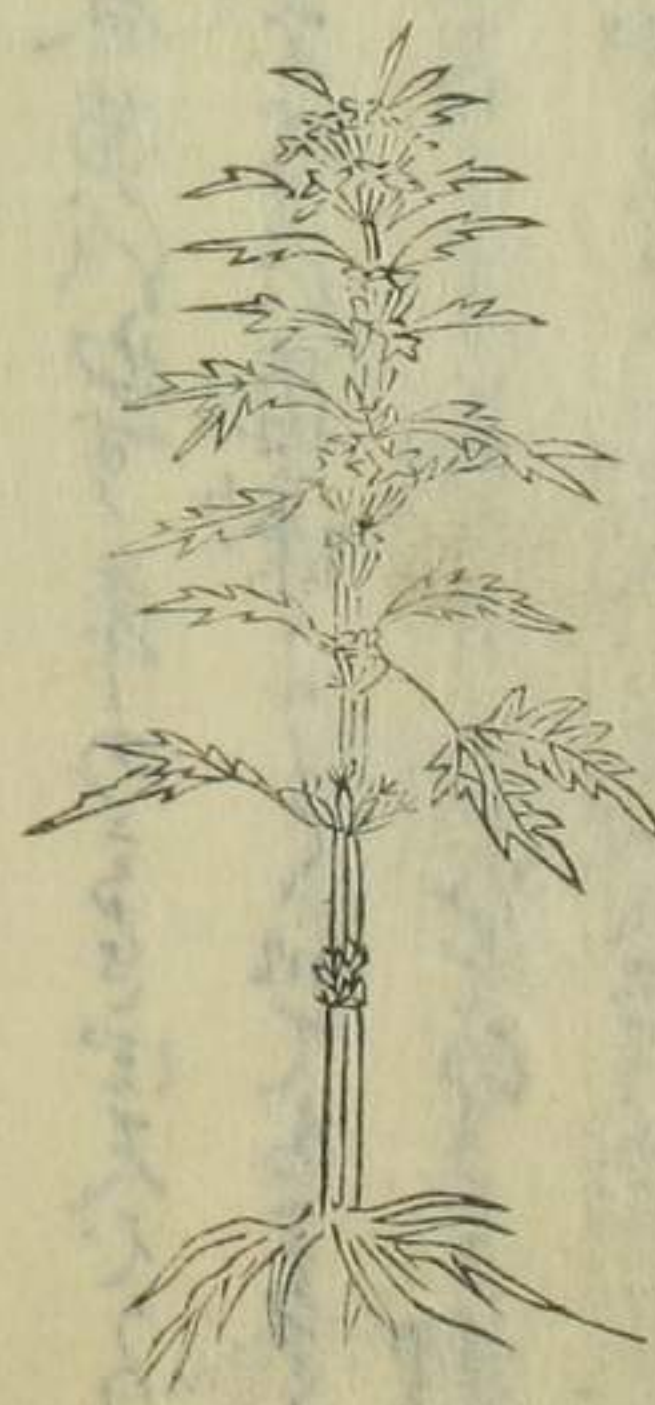
馬先蒿

二月苗出す葉益母草に似て甚くややくかなり花の白き二月七月は花の白く胡麻花に似く赤く紫也八月小豆のやうなり莢をむす八月より陰干し一歳まで用ゆ



益母草

葉苗をお寸茎不稔なり葉茎に似て尖りたる又わり多し言さく二月節より根を出し一穂之葉づく有は節より小き花の白く紅紫を又白くををひくもわり葉の中は子に粒つあり五月茎葉をぬき八月九月は八月比さう炒て用ゆ



劉寄奴草

春苗出す草の白き二月三月は花の白く四月は小き白花なり花の白く五月は花の白く六月は花の白く七月は花の白く八月は花の白く九月は花の白く十月は花の白く十一月は花の白く十二月は花の白く



青箱

二月苗出す草の白き二月三月は花の白く四月は花の白く五月は花の白く六月は花の白く七月は花の白く八月は花の白く九月は花の白く十月は花の白く十一月は花の白く十二月は花の白く



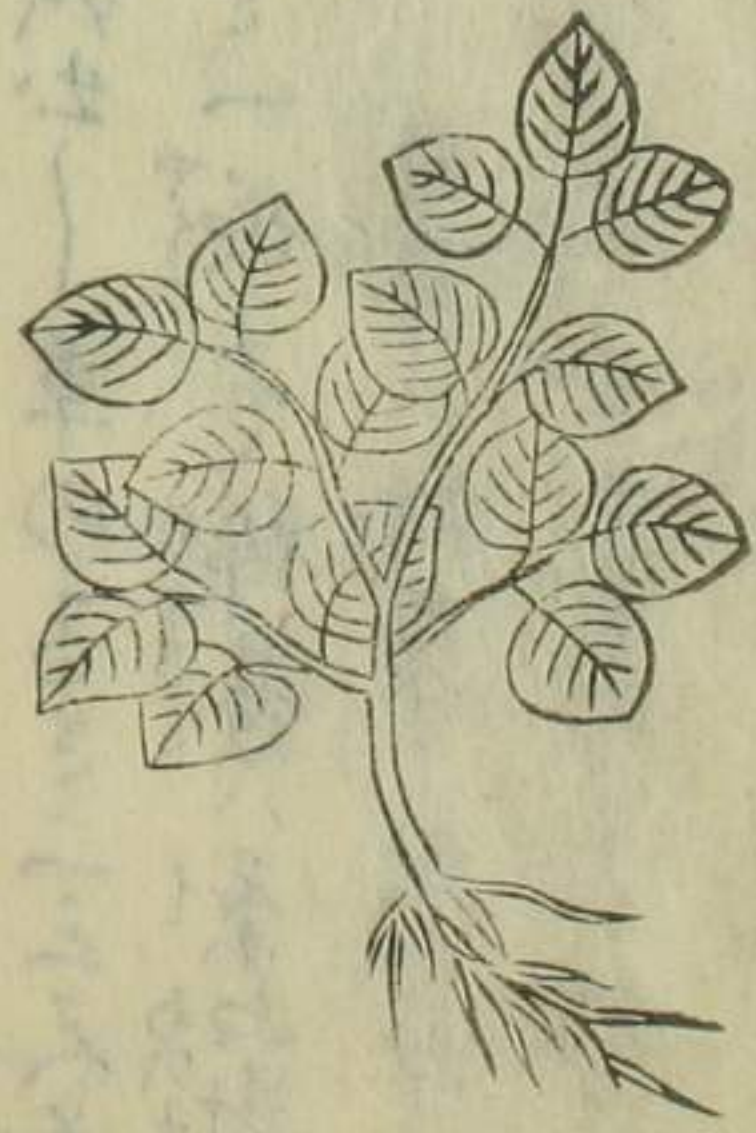
鶴虱 和名やぶたご

二月に黄仮出—葉のふるまをす茶
ハ芥菜小似りサ—臭気あり
七月茎をゆき出—少と野菜の根
なりををひくは菊の花のつちこのやうか
ら黄仮結ふまをまご臭—
名精実を鶴虱と名づく葉根実何
まを茶と用ゆ



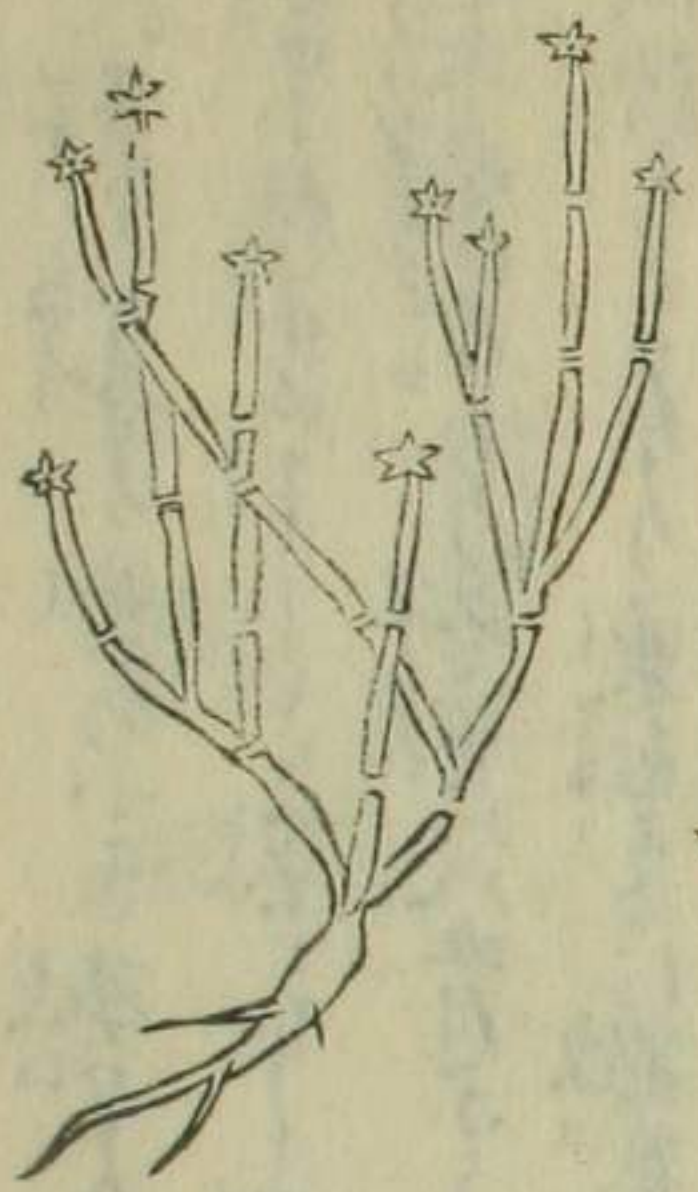
豨薟 和名やぶらひ

二月に黄仮出—葉のふるまを二三尺茎茶
の形葉耳小く似る葉お射—
やぶらかなり実の形サ—
二月に黄仮出—見乾—用ゆ



麻黄

春黄仮出—六月の比より一尺をり
茎の尻小少きを仮ひくま少と実を結
ぶる形形ら本根小似り細くろろ本根
に似るサ—
り根をくち赤く黄—
ふりものも葉を根も葉小用白茎九月
小より陰干し根は十月にり用ゆ



地黄

二月に地小つさく葉仮出—形車前乃
葉に似る皺をて老く夏の中茎仮出
—花はひく油麻のむ—
色のを又ハ葉もわり実の形連翹小すに
似り根の形小不定まは内外を黄かり
十月小根仮出—用ゆ製法多—
銅鉄を喰い—



冬葵子 和名 あめあひのこ

野色に多く生ずる葉の小さき葵なり
なほ冬子小種子云々一と云ふ者あり春
葵秋葵冬葵の名あり冬葵は九月小
く冬瓜種くさるなり葉をまきに蜀葵
り小一葉いさくを冬瓜の用也



黄蜀葵 和名 こら

去苗を出し葉蜀葵小似く又苧麻
葉に似く岐あり六月に花はひく
分して心葉なり花はくすまらる実
後大さ一寸餘り形は苧麻の葉小似る
実まに葉より用也皮は紙うく紙を製
杯に用也



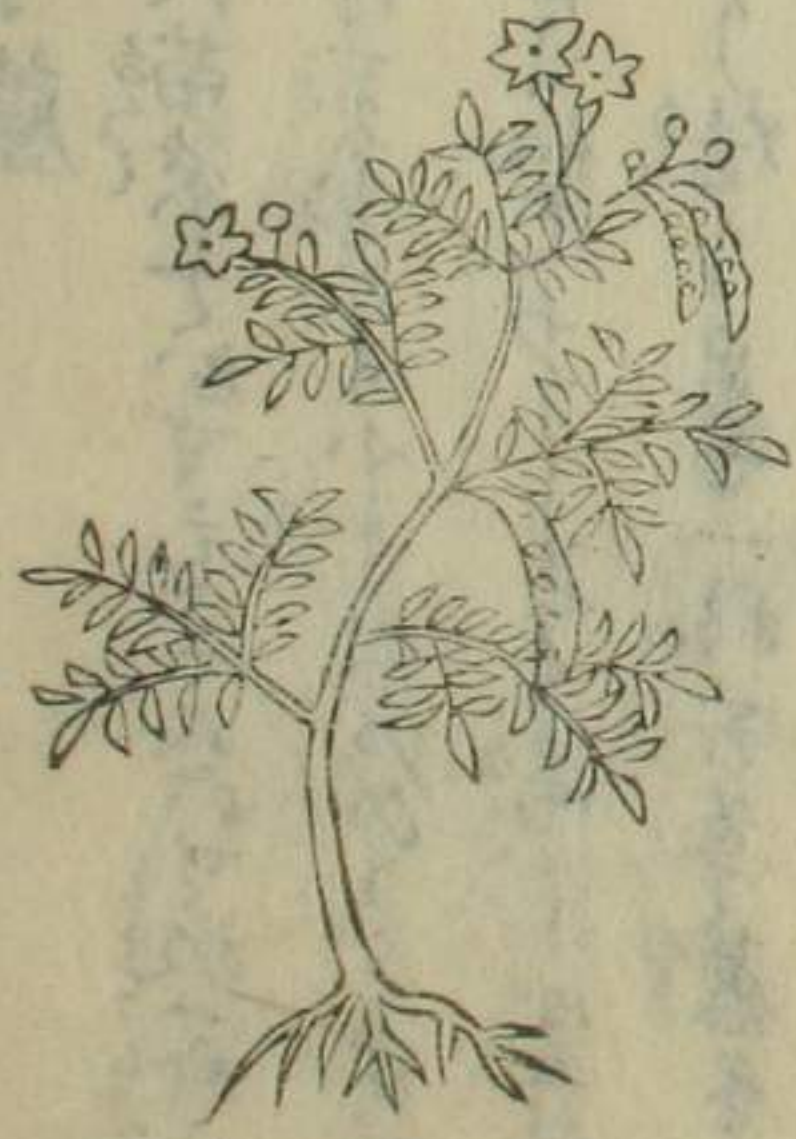
鹿蹄 和名 いちやくさ

苗葉莖葉小似くやうかたり春の
花はひく実をむすぶ形は龍珠の如
く又月小葉をとり用也



決明子 和名 いちやくさげ

去葉葉を出し首若小似く大胡枝の
葉に似くやうかたり夏小似りて
之を人豆の葉をひくは合秋葉を
る花はひく小豆のやうなる葉を
は草種多し大根同く葉をとり
一葉あり八月此葉は炒り用也



王不留行

春苗出—莖紫赤—葉似
小似—未出—二月小葉似用紅
似—形如—少參之葉小似—細
肉—二月小葉似—二月小葉似
用—二月小葉似—二月小葉似



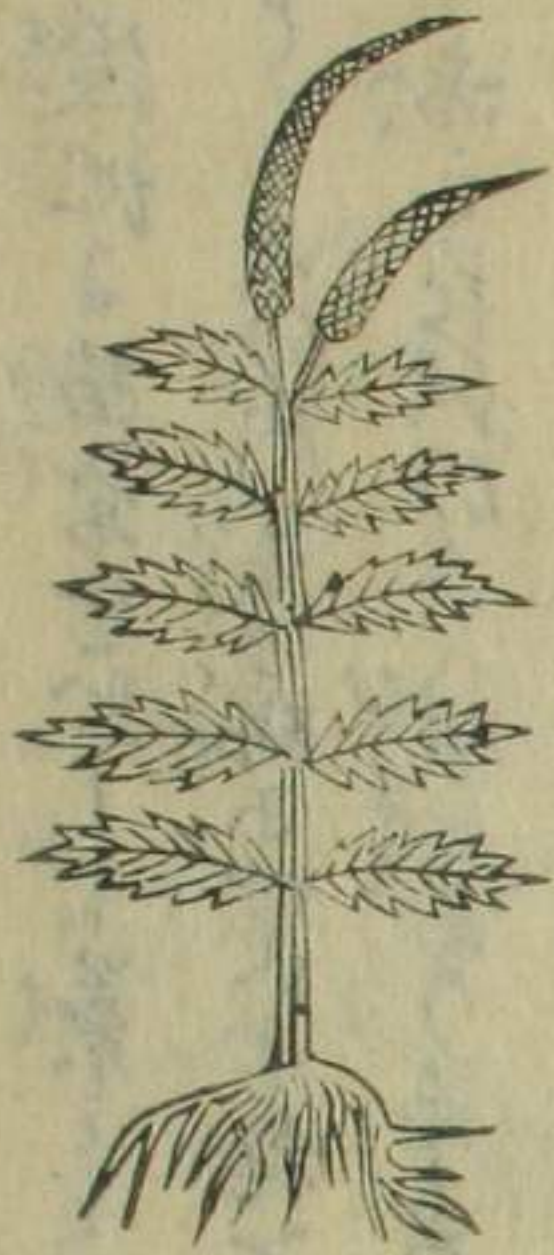
甜葶藶

初春に苗紫を—寸五分形赤似
—二月葉似—小葉似—實を結
—葉似—似—長—五月に
—實似—二月葉似—二月葉似



馬鞭草

春苗出—莖紫赤—葉似
—二月葉似—小葉似—實を結
—葉似—似—長—五月に
—實似—二月葉似—二月葉似



蛇含草

春苗出—莖紫赤—葉似
—二月葉似—小葉似—實を結
—葉似—似—長—五月に
—實似—二月葉似—二月葉似



鼠尾草 一名之七

鼠尾草 一名之七
 喜溼地 一苗葉を出一葉を二葉
 のごとく夏の内茎の端に四五枚葉を出
 一赤い花のひく紫もあつ白もあつ
 秋八月ふつとわい七月のころ月の



早蓮草 和名 ぎんなんらう

早蓮草 和名 ぎんなんらう
 春苗成り一草の葉は一二葉葉の柳
 似て光りあつ茎馬齒莧小似り口唇
 白こまらなる花のひく小に蓮房の
 やうなり葉はむす葉をあたけけつち
 らの内をまきふかりのものなりは青葉
 葉を食ふはう法乾し一と用の



連翹

連翹 一名之七
 喜苗成り一草がくちをたれ細
 く一と蔓のごとく二月の末葉を
 花をひくを食ふ葉はむすび葉は
 生る葉の形に花に似くふくまう一内
 小細るるあり葉は葉は似る七月葉は
 ころり干し一が一炒る用ひてし
 葉は用ひるあり六月に用ひ



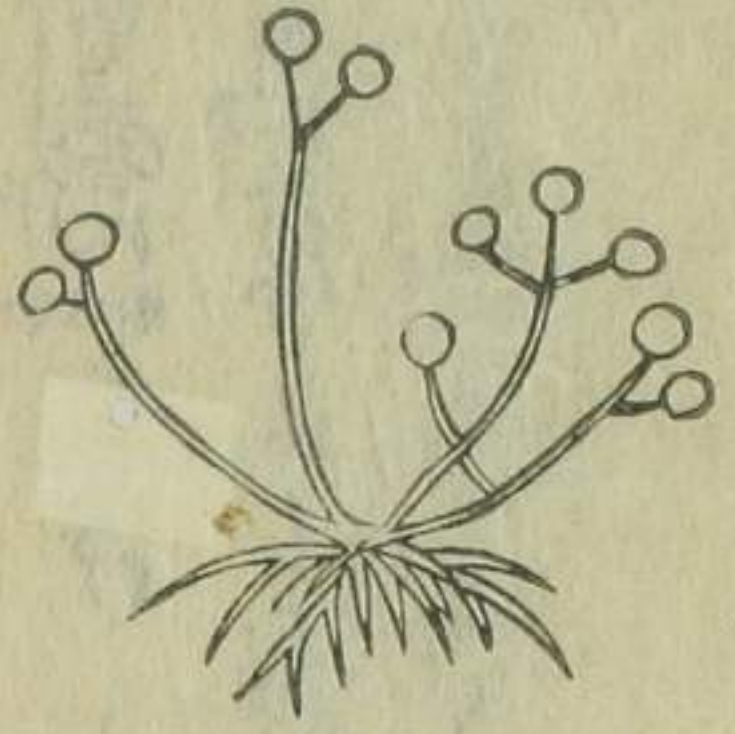
水紅花

水紅花 和名 けいご
 春苗を出一葉葉に似くえらとて大
 に葉のうかり花をなしてうす紅の
 さにむすびむす葉は粗く指のさ
 一と一面小尾あり花を食ふ葉小用ひ



穀精草 和名やぶこぎ

此草多くい米穀を刈る時生るもの
なり一穂一むらがり生ず葉は穂米乃
葉の初生まじうに細く茎をぬ
きかきとるに又寸たより茎の細少
白く花はつらつらと生るる花干す
因ゆ



海金砂 和名かぶと

春苗成出す線のものなる細き蔓成ひき
く竹木小よりまらふ葉の形雞足の如
くくまをたて高く節多し一葉の細
きるゆ子あり蒲葉粉のどし七月比
茎葉をいじり目かや紙の上より
てゆきはさう用也とまて葉成り
干す一月をりあり



鬼鍼草

春苗成を出す草のまらふ二三葉早
蓮葉に似て極あり六月比寸葉なる
花はひく花の心とてむらりまらふ
まらりて鍼のまらり人の衣に
つて七月比苗成を干す一月用



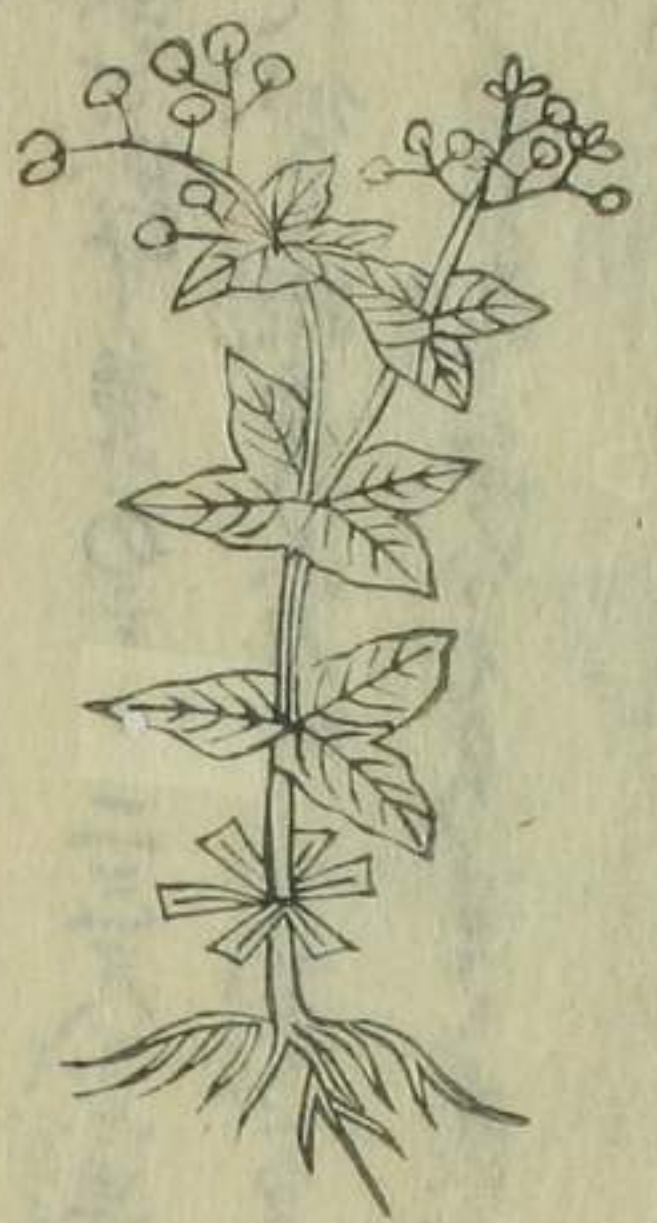
大戟 和名ちぢい

二月比は花のまらふに生る蔓成たのひ
くまらふ二三葉の中ありおれ白
けし葉の柳葉に似る根の形短き葉
者のかは葉さるるまらりあり
上よりす四月に根をさう目た干す
が一月用



續隨子

春萌生大戟の初生のごとく一茎に
にこのの末の葉のより又二三葉を
四月に細くするも皮のしこまを殺し
あり実をむすぶ七月実をさう殺し去
りやくを皮より紙すつて麻を以て
去る也



黎蘆 和名 ちりょう

二月苗生大戟の初生のごとく一茎に
又車本葉に似てせしむる一尺許茎の上
桜皮のやうなる毛をすつて生じ葉は
うり一茎はぬき出し七月は葉をさ
をひくすすまを殺しむすぶ根の
うす葉をすて細根をす一丈葉小葉の
二根ありいつれを十月にうり根を
用也



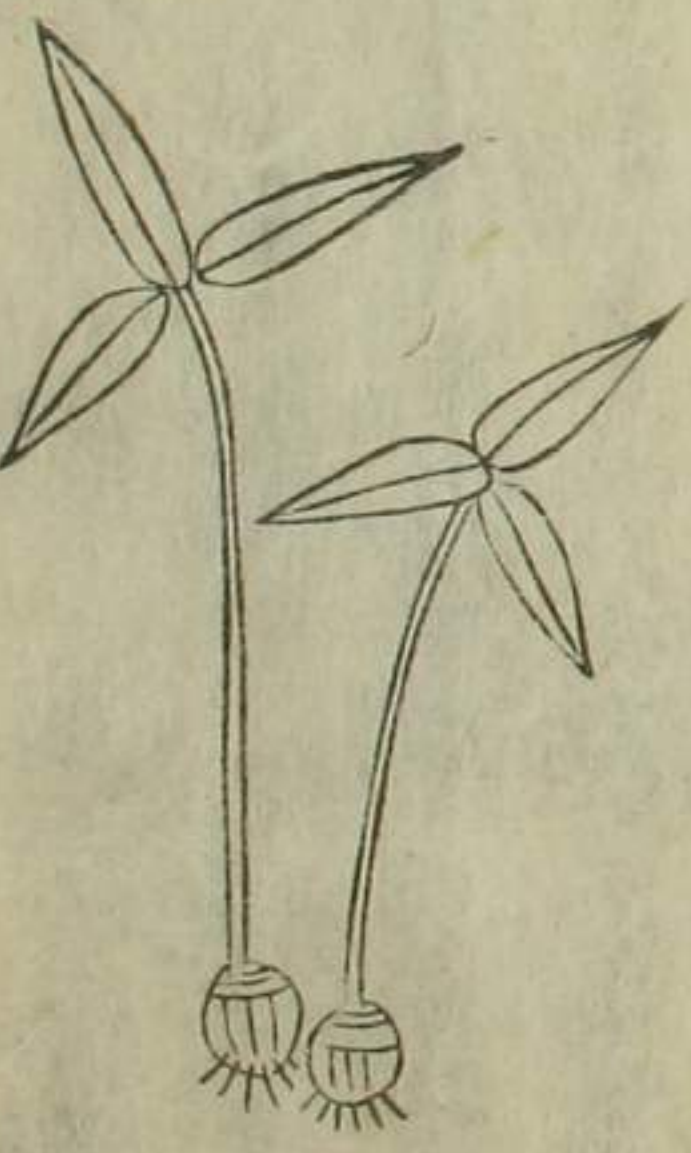
天南星 和名 へびのどいそら

三月苗生一茎に葉の形
菡萏のごとく五月に花のひく蛇の
似く葉をさうり七月に花をさす
根のやうに生じたる極子のごとく根は
芋小似く長く痛をさうり八月に花
干ししを薑けしひく焙り用也
よみ病小うり制法はおか



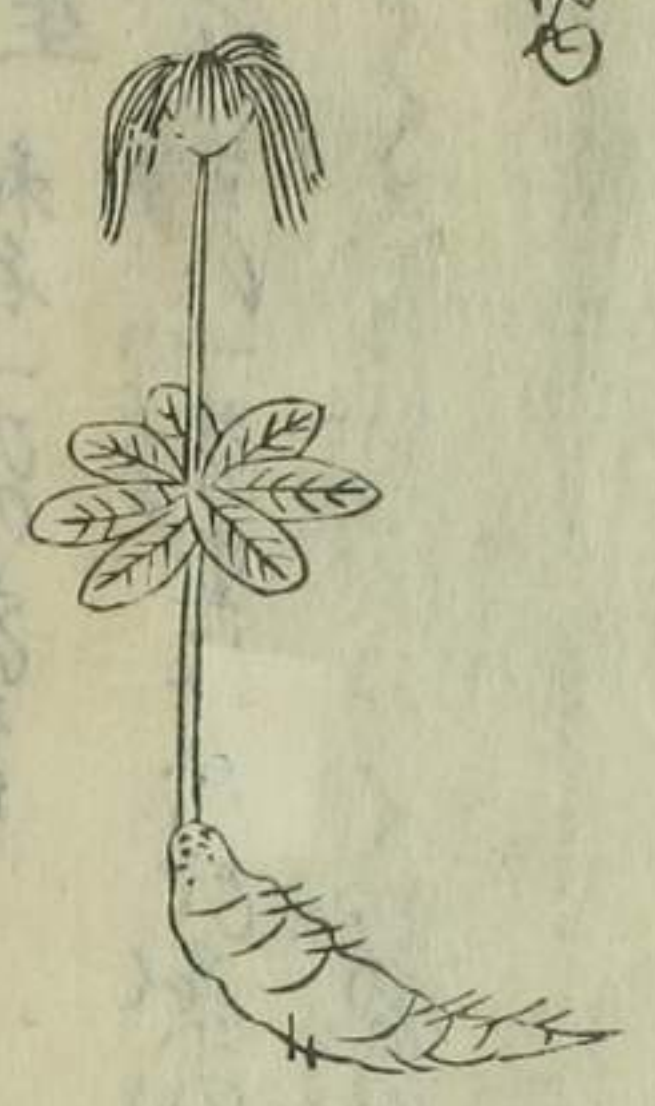
半夏 和名 かすびさや

二月苗生大戟の葉のさうり三寸葉に
葉あり竹葉に似たり根は長く葉の上
おる田野の中多く生じ八月に根をさ
日干ししを薑けしひく焙り用也
ゆ又ハ熱湯をさうり七遍をさ
さうりわづりても用也



蚤休 和名 りんごんさう

春苗を生長す草のまこと一尺許一莖を
 一之のび葉の長さ四寸末廣く狭
 一四五葉葉葉のめづりき生る中より又
 一莖五のびまこと四尺葉めづりて生る或は
 二三莖或は四五莖の末より六月比花は
 開き此葉の七瓣の毛の内より合さ此葉
 のてきま葉と出根の形肥る昔蒲又ハ
 茶求ふれり又月根をとり日に干し
 用也



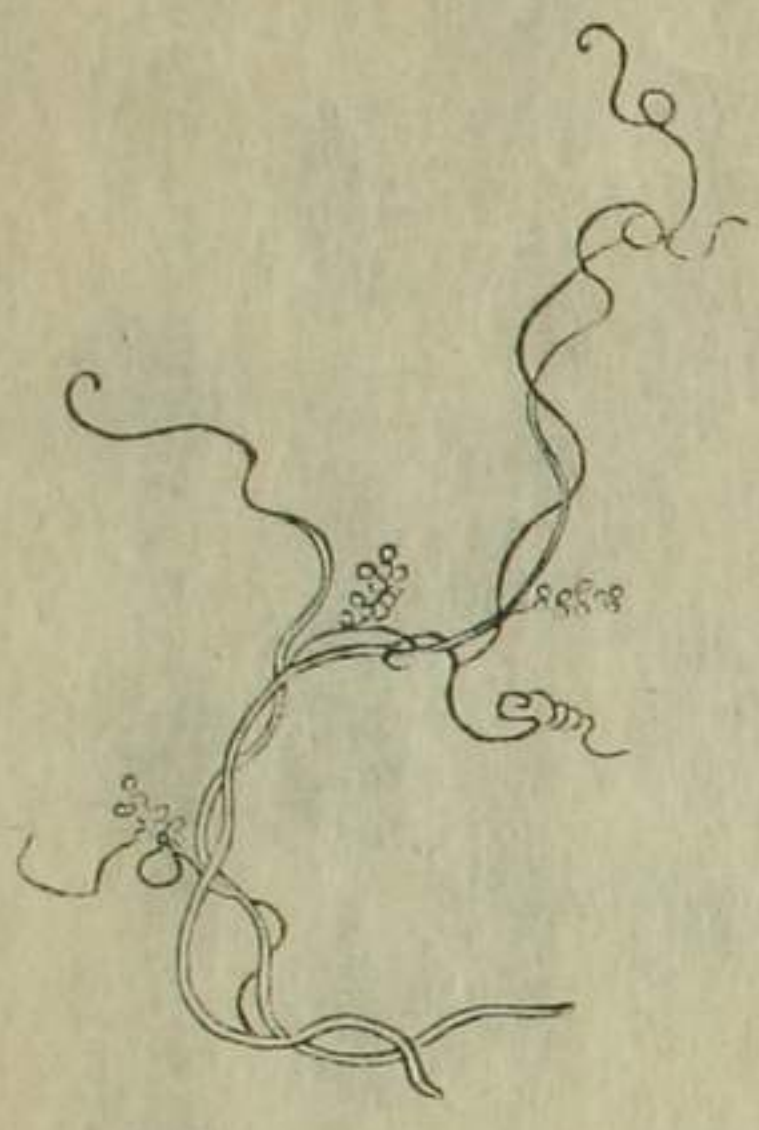
芫花 和名 去げん

四月根より枝より二月比紫葉の
 下より葉の如くひくき二月の末より
 比柳葉のやうなる葉は生る全折小き
 木のてきま葉と二三尺葉葉生る
 まり如くとり日に干し用也



兔絲子 和名 りんごんさう

夏のそとめ細糸のやうなる苗を
 生し地よりまきまのびず外の葉木
 小まきまきまのびま根はおのづからえ
 今外の葉木の如くかりて生長する
 草かりり白たねを生しま葉は
 七八月黍粒のやうなり葉はむす九月か
 実をとり一夜酒入ひし日まかり用也



五味子 和名 まるうめ

春苗生し一葉にまき赤
 葉の如く木葉に似たり二月白く黄
 色なり花はひくき七月実成むす
 実まき熟すれば紅なり枝も葉も松乃
 香あり九月比葉はより日に干し
 用也



三ノ花... 七ノ花...

覆盆子 和名ごやういちご

春苗生一枝... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月...



土青木香

土苗を生... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...



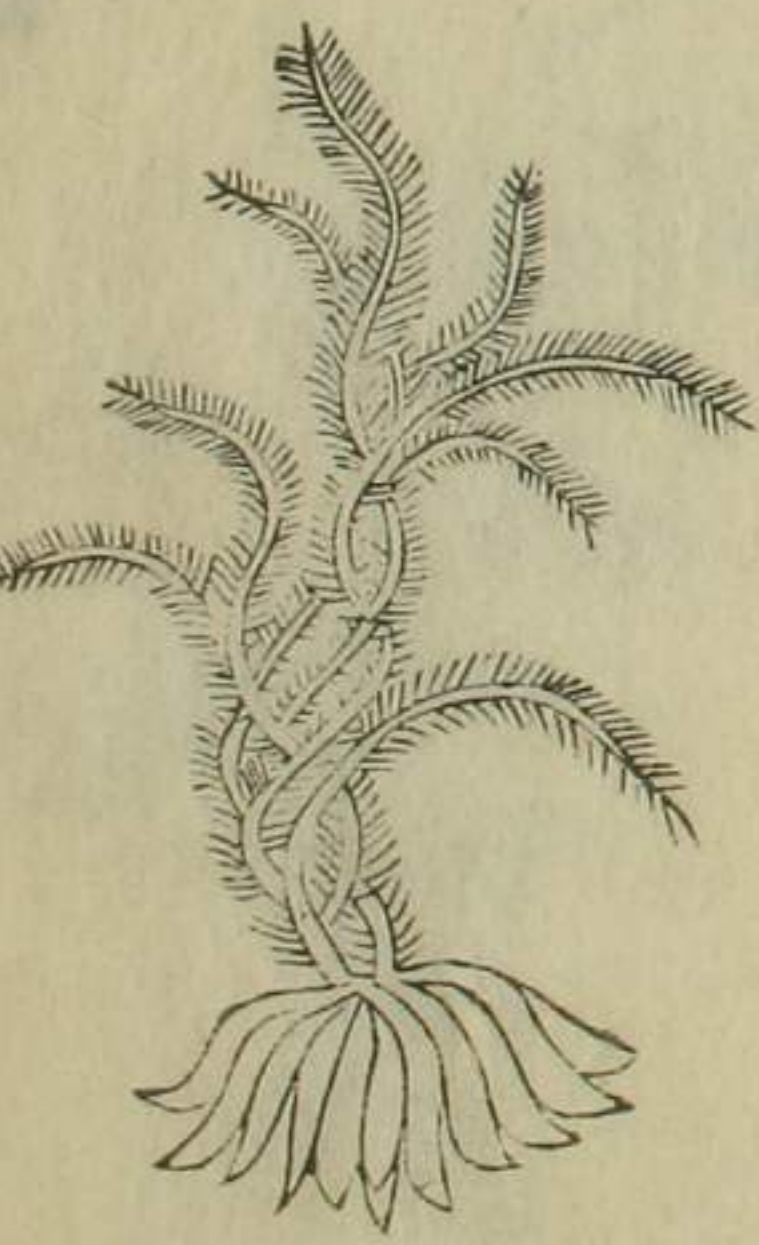
墙薜 和名いさごま

春苗生... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月...



天門冬

二種あり... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...



西本止齋書

威靈仙 和名 くのさう

春苗成生一莖其葉のびく粒系莖をめぐりくまきりそ葉らんくまきりて入
七粒或八九粒におよぶのち一九月は
穂とかりくも成ひくまきをむすぶ一
根より粒百餘成生す長さ七八寸より
めは葉にまきりて年と経くにまきりて色
ましくまきり十月根成り焙り用ゆ



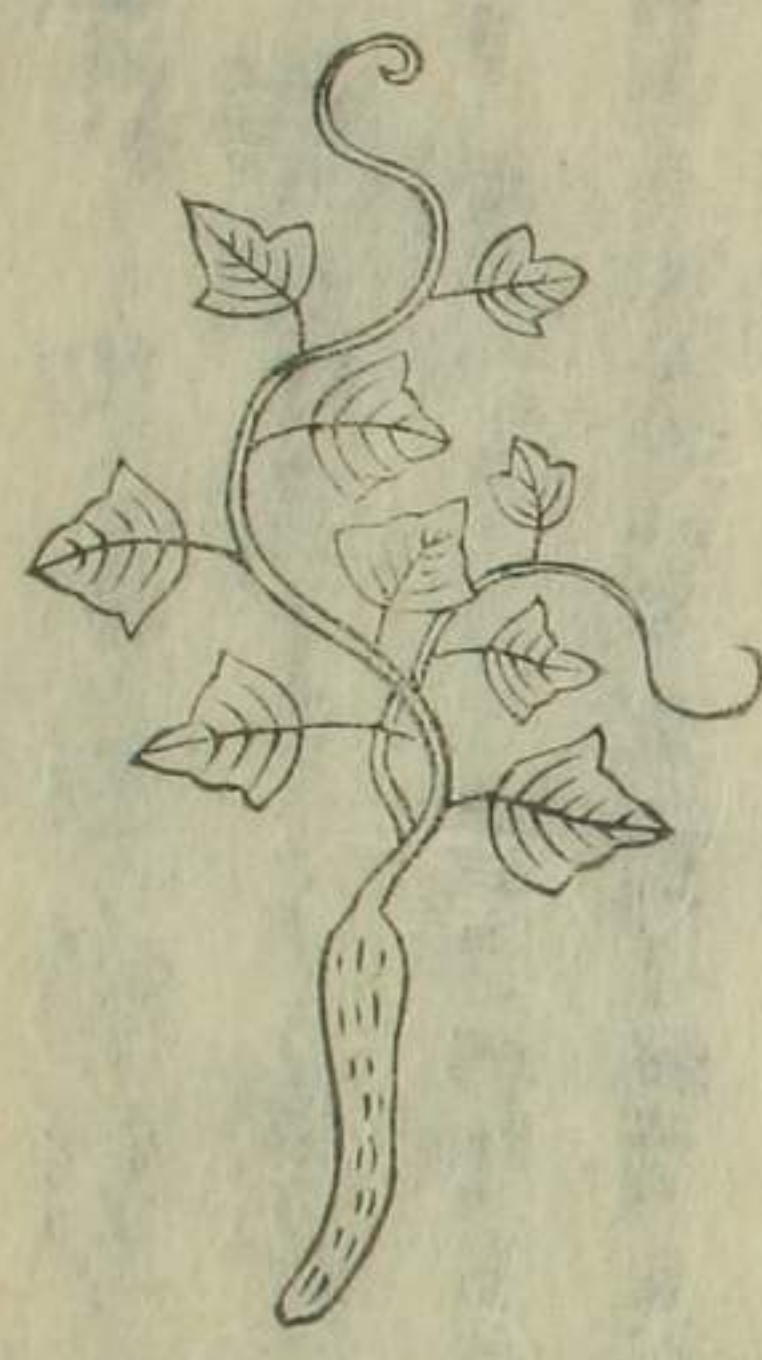
茜草 和名 あろよ

冬の内より苗成り一莖をひく竹本に
まら小莖は角小中一細筋あり外
小細筋あり節ごとく入葉つくは葉系
く背筋七八月にはまらなるをまきり根赤系
なりすから條地に用ゆりあろよなり二月八月
根とより根刀してまきり日に乾し用ゆ
といむべし



防己

春苗成り莖大く指の太く根も太く
蔓をひくは葉の形ちさし一葉半葉
小似く厚く大かり莖の切は車の形小似
より一方よりつよく吹は風中より毎寸二
月々八月小莖のちまきり根より干し
用ゆ



蘿藦

三月苗成り莖蔓延やす葉の形何首烏
似り莖葉まに形は白くけ出た七月
の形のやうなりやまきり成ひくまきをむすぶ
長さ二三寸大さ卵形より一或はあり
おまきりやまきり九月は穀きけてあろよ
系なるのち七八月よりまきり根より用



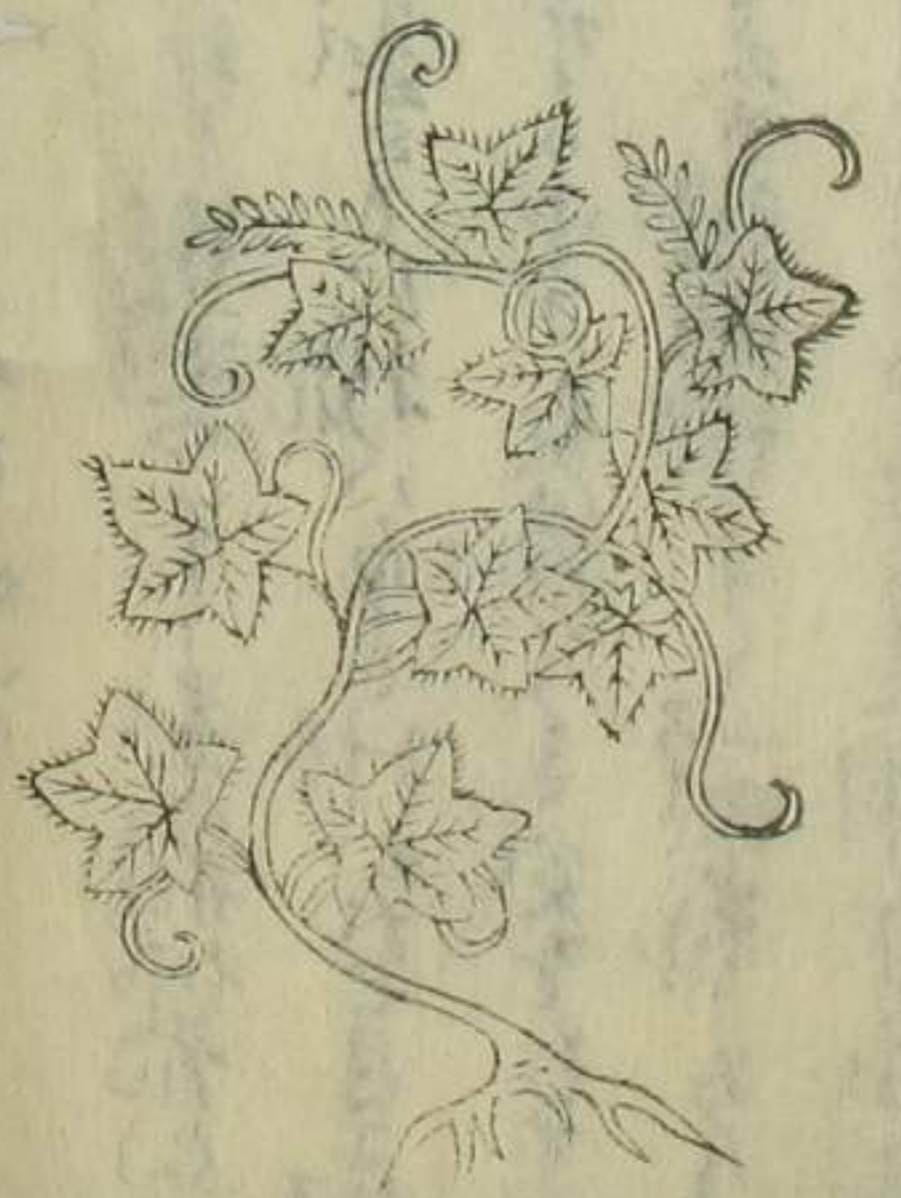
烏蕨草 和名びんがらぶら

二月草花あり一葉のひく茎の細く葉はつ
 めりて秋の爪取畫と云ふこと一葉のれも
 こまき背のさうす一七八月比細くある
 花実あり六月比莖葉はつて終り目に
 干し用也



律草 和名かきむら

二月草花す莖は細く刺あり葉は即ち
 細く二葉づき一葉に又あり八月
 比とまかりむらひひき細く葉はむすぶ
 七八月莖葉をとりぬす用也



絡石 和名ていつがら

冬夏ともに花がまらば木より生ずる莖
 を折れば汁は葉の形小指のほどあり
 一葉の丸くとまらうと二種ありつれ
 一葉の丸くとまらうと二種ありつれ
 干し用也



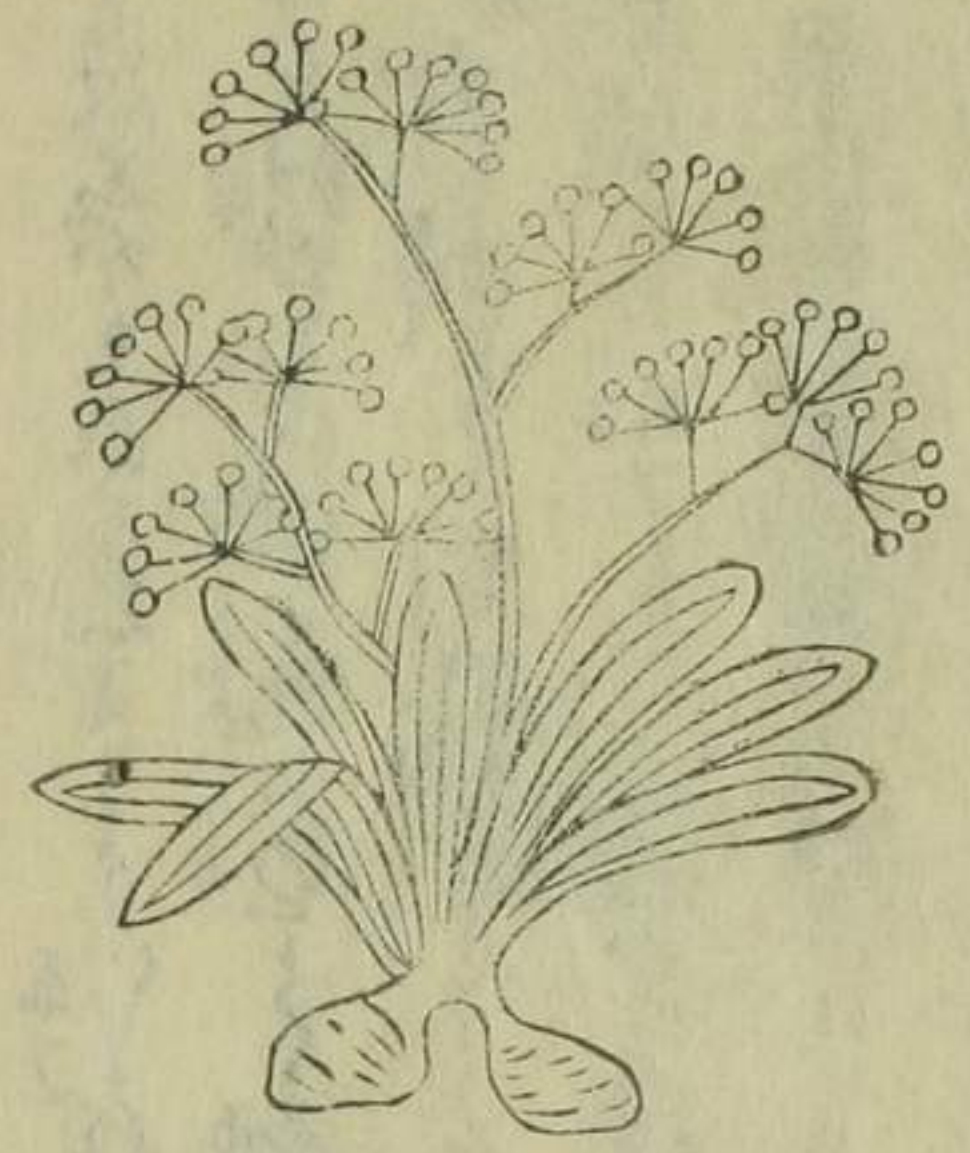
木蓮 和名いたびさうがら

冬夏ともに花がまらば木より生ずる莖
 を折れば汁は葉の形小指のほどあり
 一葉の丸くとまらうと二種ありつれ
 一葉の丸くとまらうと二種ありつれ
 干し用也



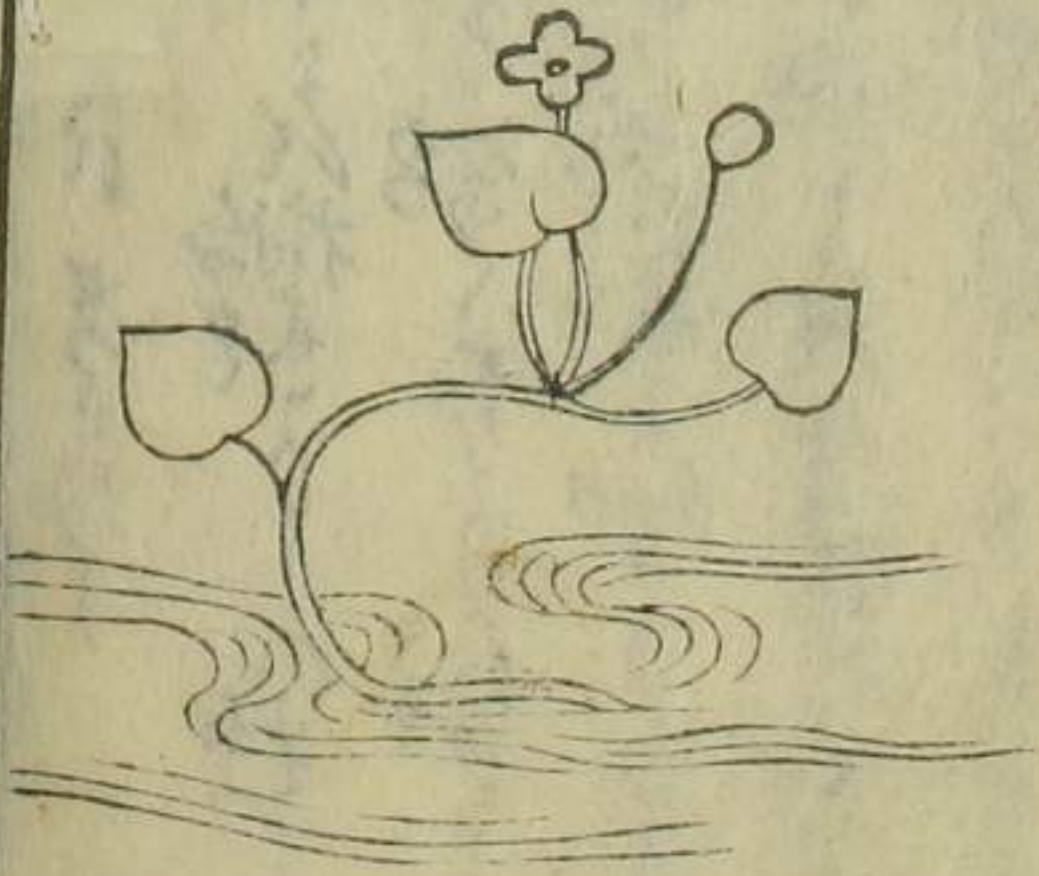
澤瀉 和名ミドノモト

春苗成り多しハ後さの市に生れ
葉中白く花は白く一茎の秋は花をひく
根葱姑のくくして扁して大なり九月
比根をとり日干し用也



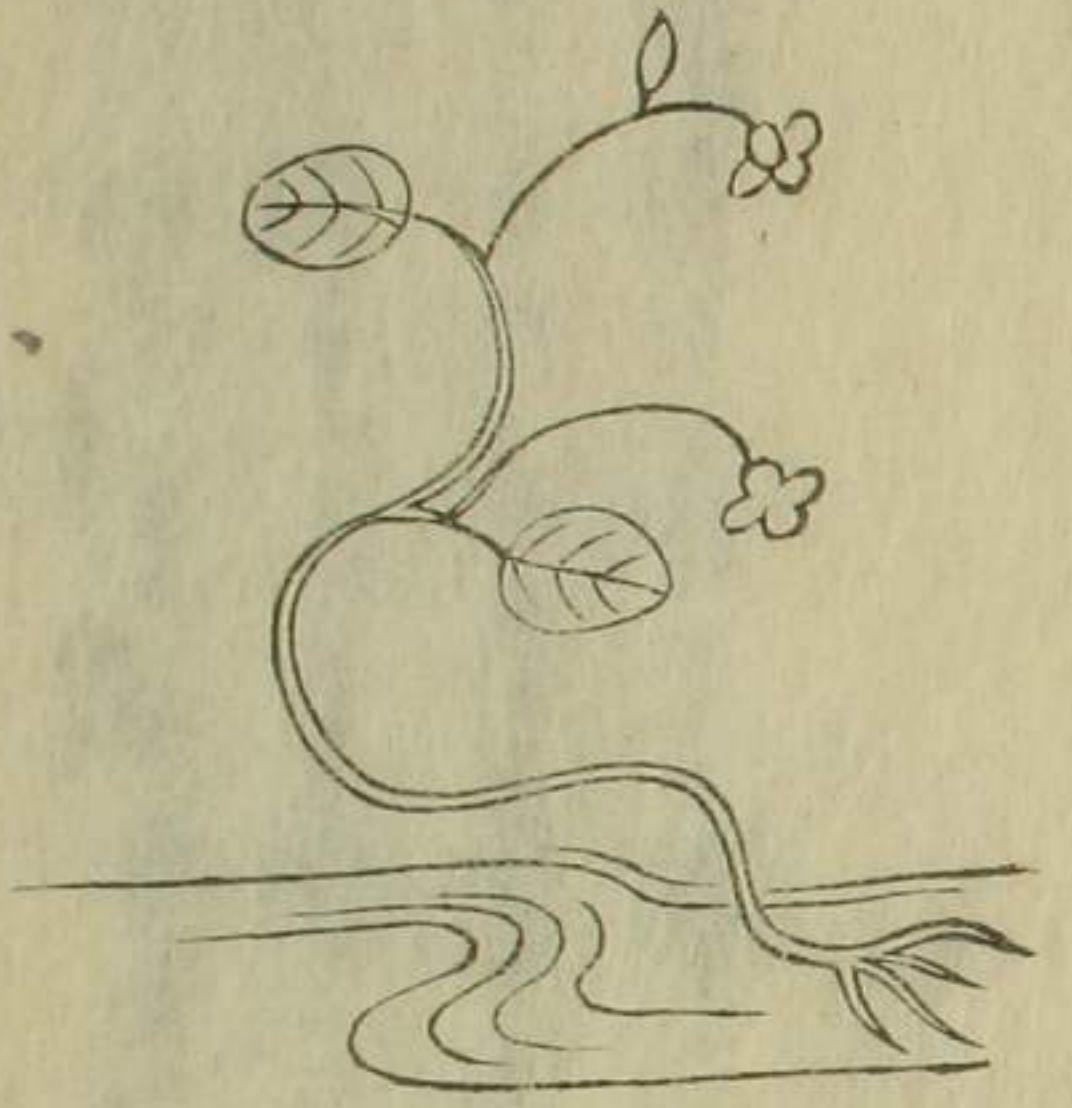
菴菜 和名すぢんのかど

菴菜は一類して根は水の底にあり葉ハ
水の上に浮ぶ葉の形は細く似て少くも
くまきり夏の内に葉は白く根はひくく
あり棠梨のやうなる葉はひくく細
がる子あり根菜に葉は用也



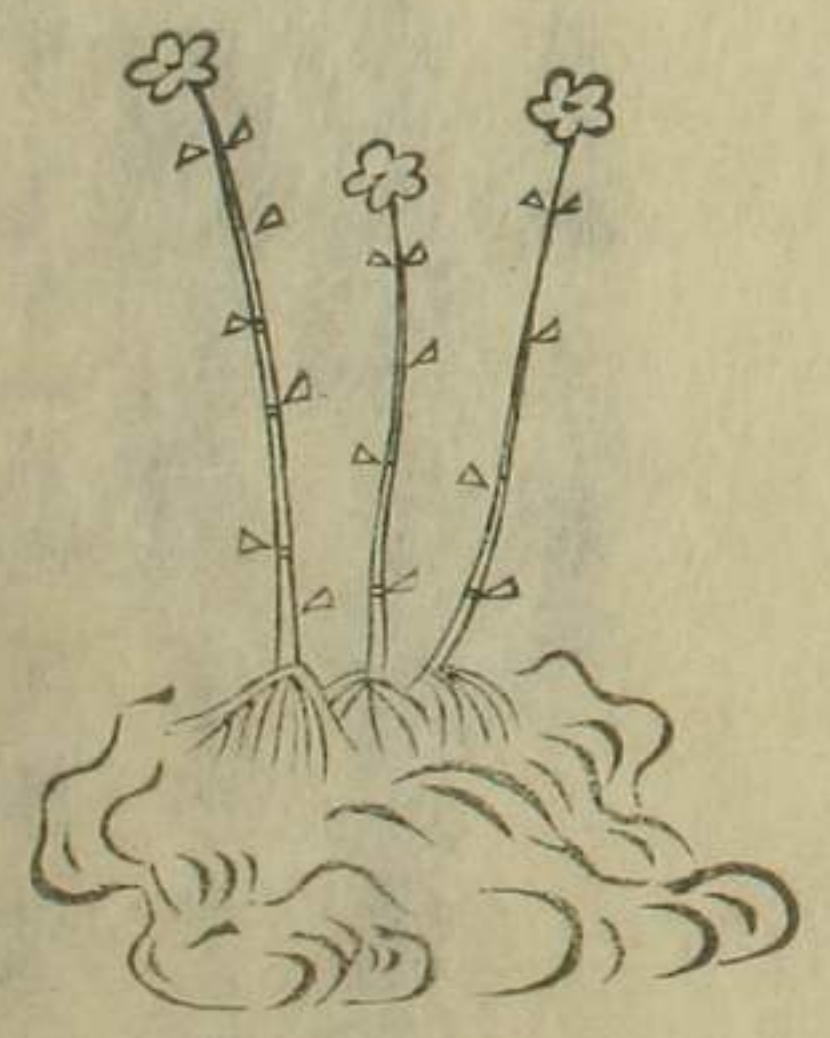
蓴菜 和名ぬか

蓴菜は夏に生れ多しハ後さの市に生れ
葉中白く花は白く一茎の秋は花をひく
根葱姑のくくして扁して大なり九月
比根をとり日干し用也



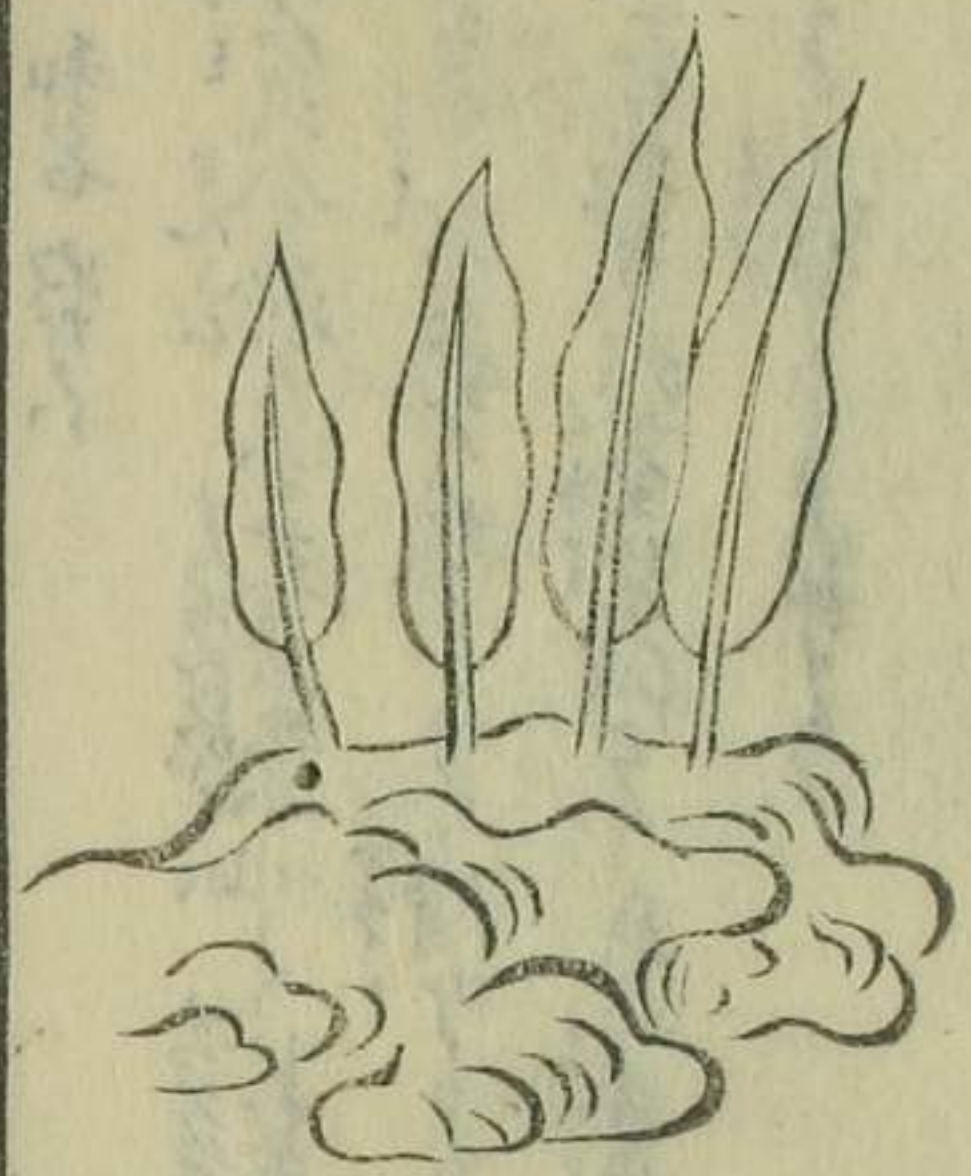
石薺

水の傍に生るる石にわたり生れ小き作
似て節は白く葉は細く花は白く
よまき後葉は白く花は白く砂の
内に植又ハ屋の下に植玉をくくく
ちげは多し根は細く葉は細く根の
形はさう云判り用也



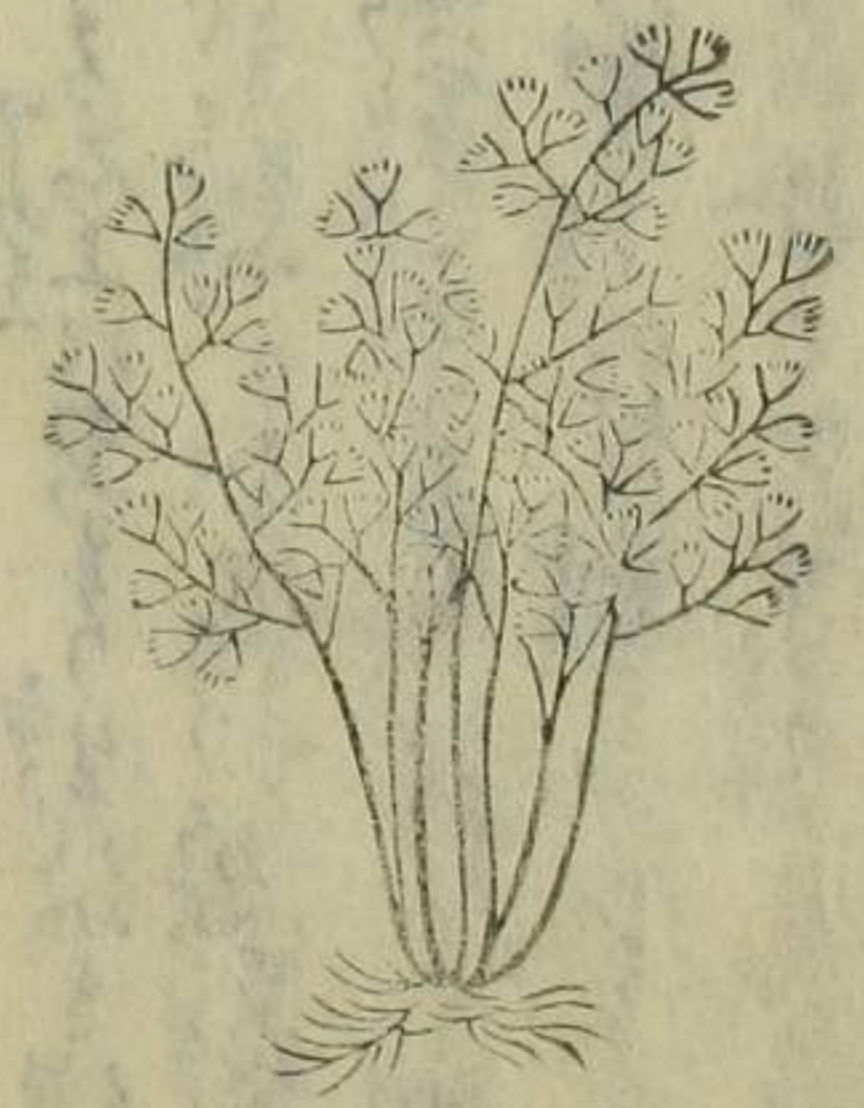
石章 和名ひとのそ

陰地の上より生ず一茎一葉長七寸
ひろさ一寸許厚くやまかきくぼのこ
背ふ毛ありやまかきくぼのこ
用ゆる時毛根を焼く用ゆ



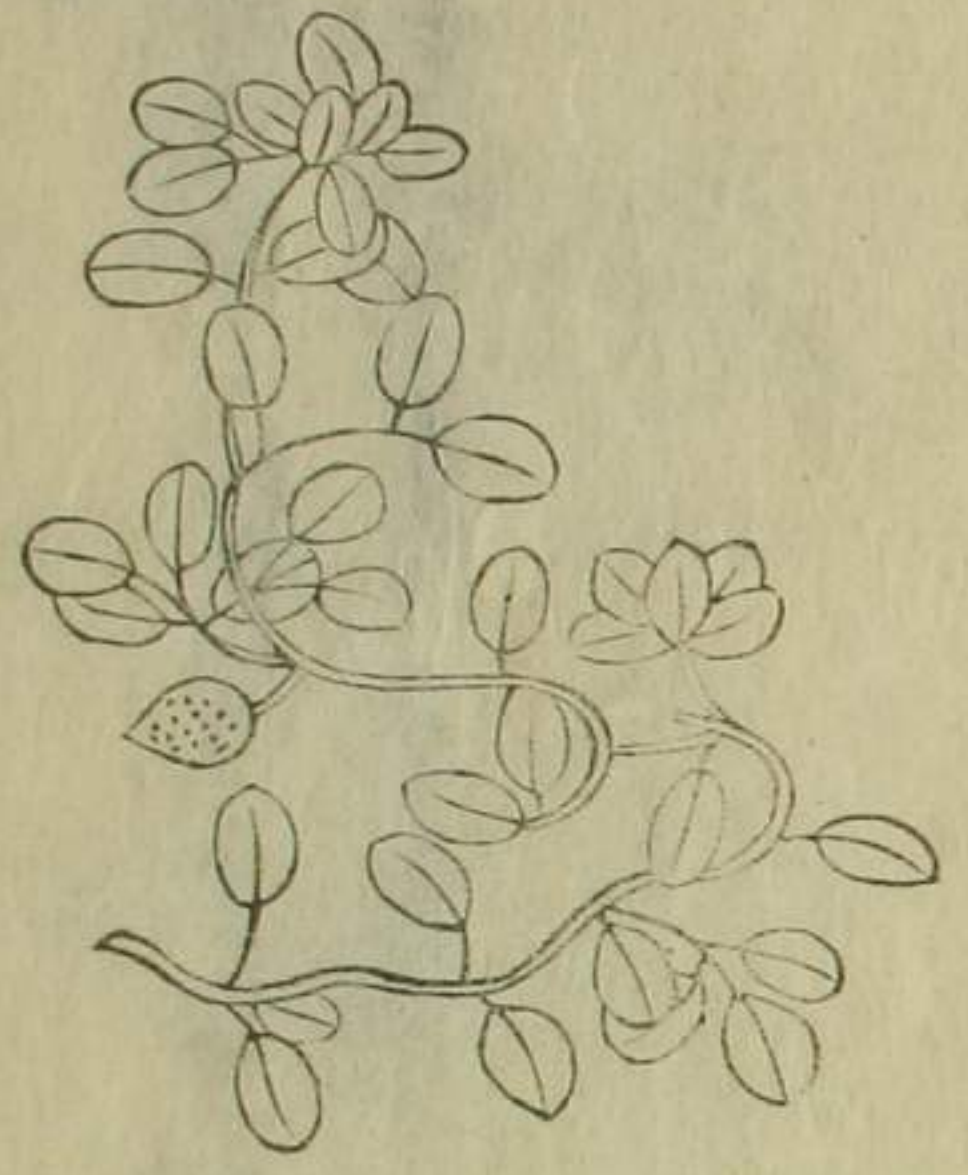
石長生 和名えんじき よめのそ

麦苗似生ずる一尺許葉細く味辛
思ふ葉は軟く細くはこまかき
やまかきくぼのこあり六月生
葉根より日干し用ゆ



鏡面草 和名まがら

大心の上生ず一葉似ひく葉の形も
豆似二つより三つ付るごとく葉の
おきて光り背ふ少く毛あり六月生
葉根より日干し用ゆ



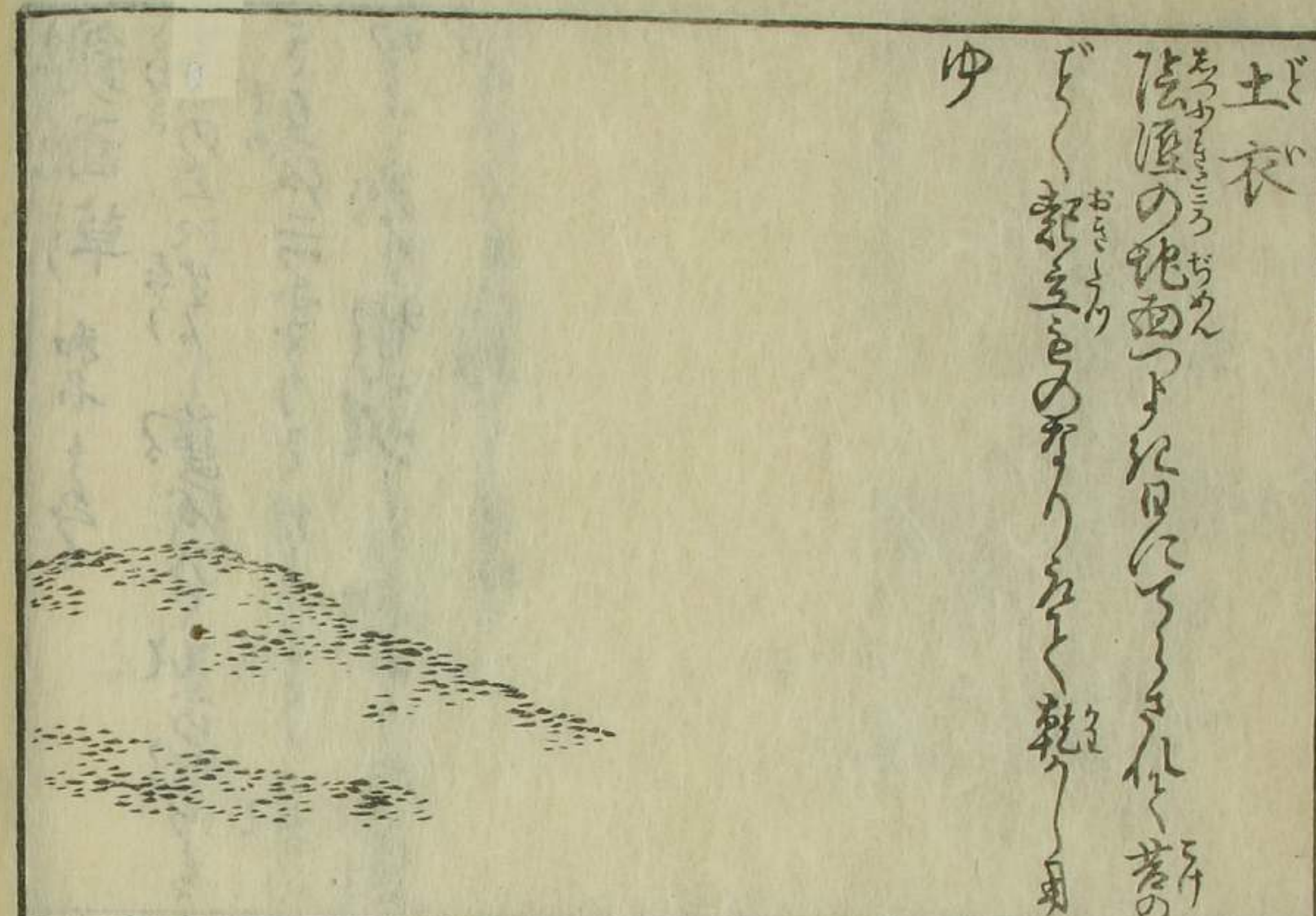
仙人掌草 和名がんそく

石壁又いふところ積土より井の中にも
生ずる葉一尺をり葉の形人の掌の如く
細く長く四対葉を有す叶不かくは
用ゆ



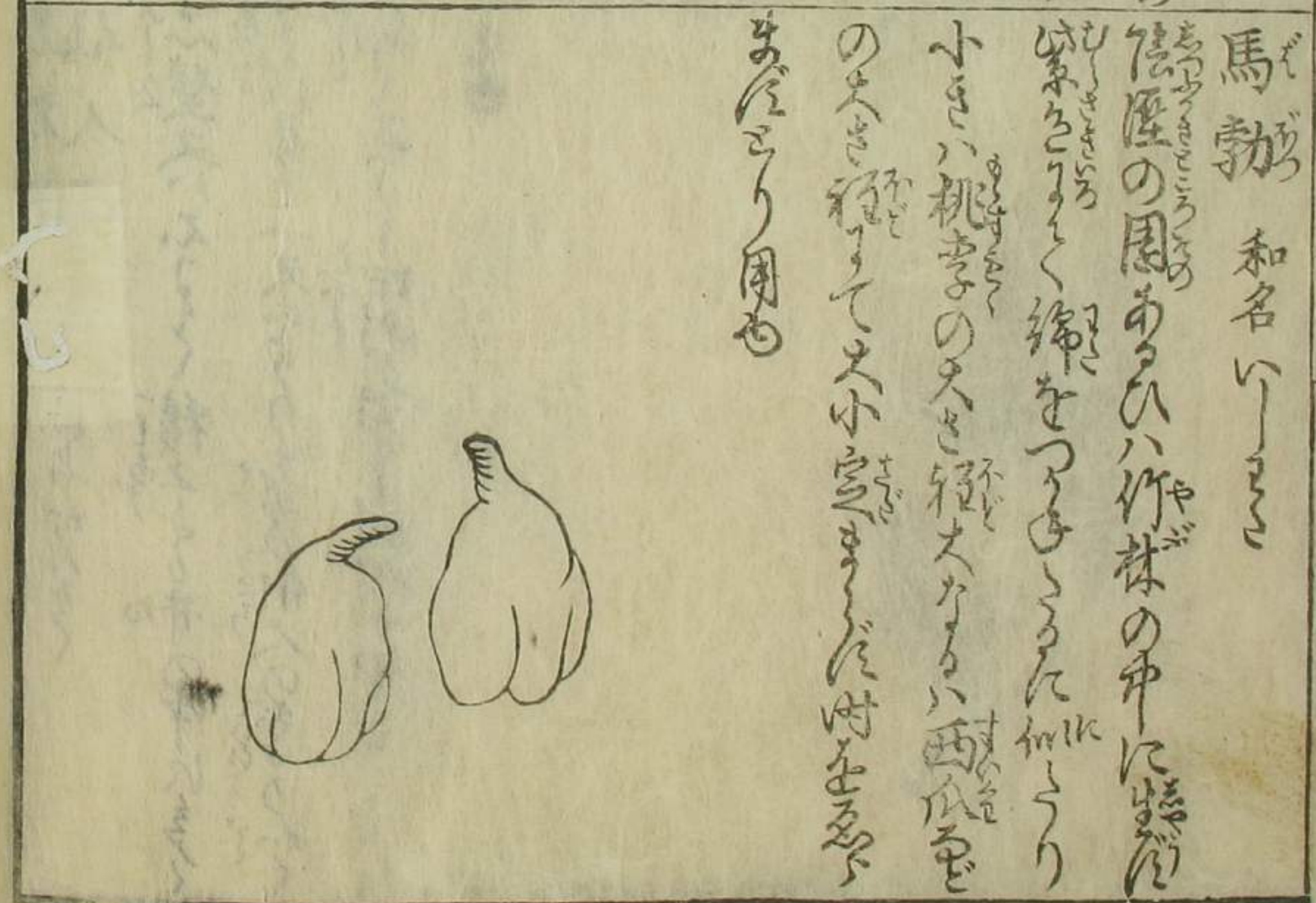
土衣

法匠の地西つよれた日たつてふん竹の
どく新豆とのそりたるを乾し身
ゆ



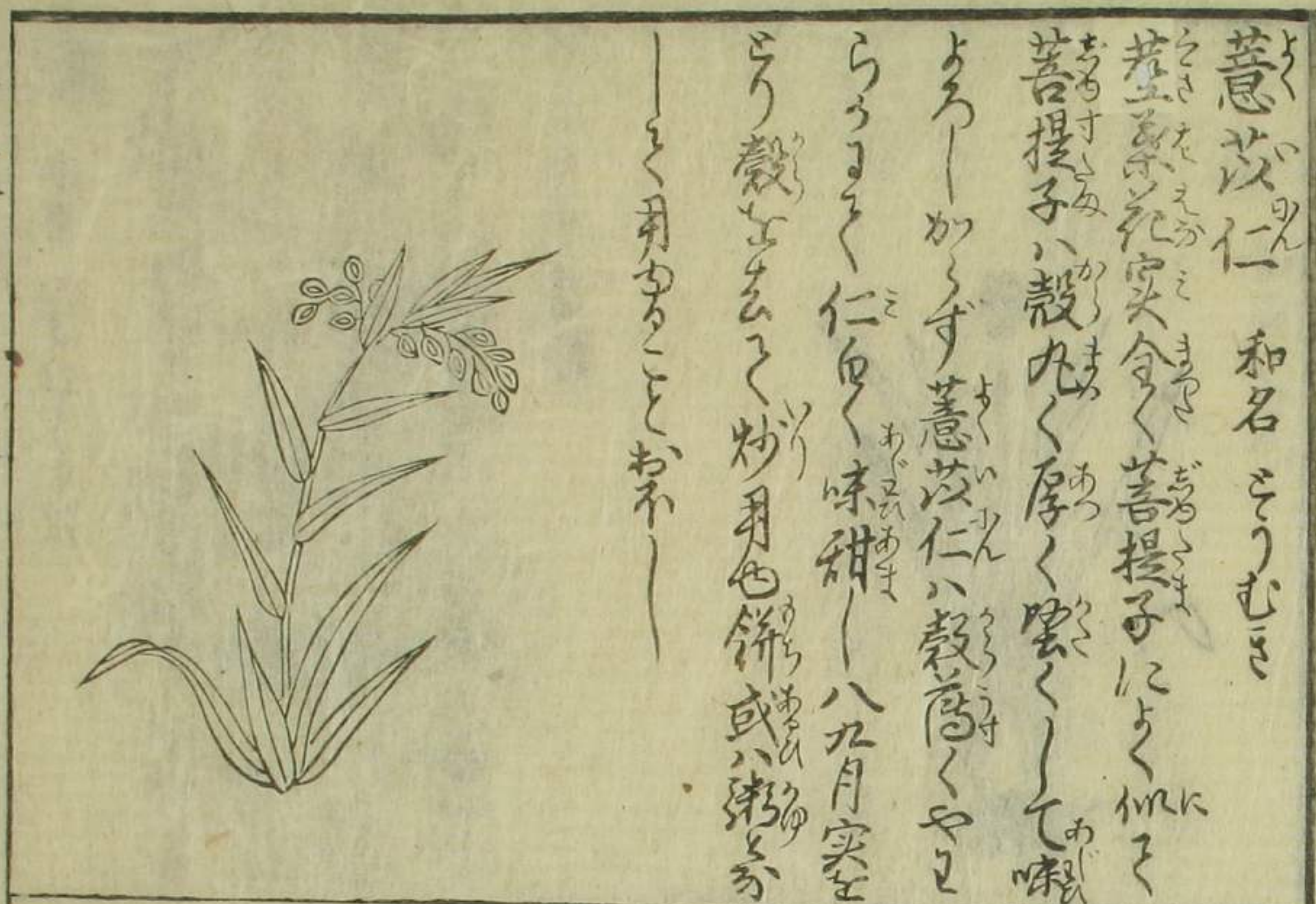
馬勃 和名いりこ

法匠の周あるひ竹林の中に結ぶ
ひまきりく綿をつまみたるに似たり
小きハ桃李の天と程大なるハ西瓜を
の天と程して大小定まらぬ時を
まるとり用也



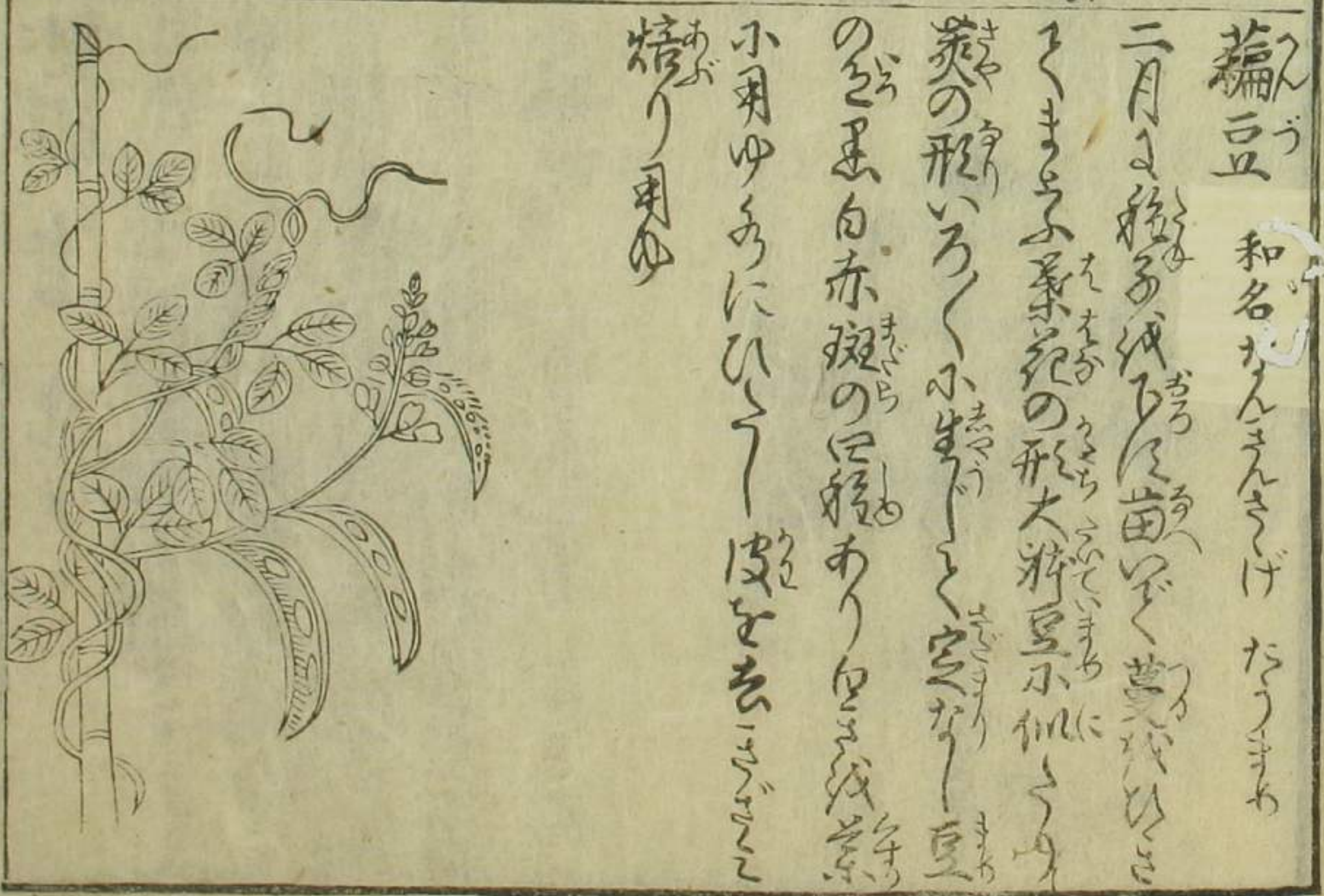
薏苡仁 和名こりむぎ

薏苡実今 菩提子によく似る
菩提子の殻丸く厚く堅くして味
より一かみず薏苡仁の殻高くと
らうましく仁は味甜し八月実を
とり殻を去り炒り餅或は粥を
しこり用也とわねし



藟豆 和名なんまきげ たうま

二月に種をばりて苗を草刈り
くまふ葉の形大粒豆に似たり
葉の形いろく小粒とく定なり豆
のま白赤斑の口程あり白ま
小用ゆふにひくし皮を去り
焙り用也



薤 和名 なまむらさけ

春蒔出す葉菲小似く中かこり
らん小蒜に似く葉を細く莖を
のひ莖の花不似る少き紫の花を生
ず根も小蒜の如く一月中不根せか
りとりて用ゆ



胡荽 和名 こまじら

二月八月移す根下す莖やろくか
葉まろくは多し三夏の花は成ひ
く芥の花の如くわつまり葉は
のどろろ成結ぶ五月小なり月白
小根成下せば冬まで葉を不
ま



蒔蘿 和名 いのんご

草のがらしく茴香の如くして莖葉花
に似く茴香よりこまなり五月比蒔出す
葉を不ろく葉を細く莖を
蛇休子に似たり六月蒔出たり用ゆ



首宿 和名 ままんげ

正月蒔出す一種の根十莖生し一
枝に葉あり葉の形胡荽に似て小
くやろくか葉なり秋小なり葉をこのま
ろくか葉に似しこまじらに似たり用ゆ
むすぶ五月蒔出たり用ゆ



苦菜 和名いんげん

三月ノ苗(出)茎(赤)に(白)の(葉)蓋(種)苗
葉(二)似(く)狭(く)長(く)縁(わ)り(葉)蓋(種)苗
白(く)さ(け)わ(り)秋(黄)が(る)花(は)ひ(く)く(形)
卵(形)の(く)く(花)の(後)多(く)成(む)す(子)の(上)
白(く)さ(毛)の(く)く(なり)も(の)ま(く)風(に)ま(り)
ひ(く)く(花)夏(秋)の(内)け(を)そ(り)葉(は)有
ゆ(り)と(多)し



翻白菜

春(苗)成(出)す(草)の(高)さ(七)寸(一)茎(に)三
葉(づ)わ(り)葉(の)形(北)榆(に)似(く)葉(の)内(に)
皺(わ)り(外)に(葉)葉(わ)り(お)も(て)ま(く)背(は)ら
一(目)に(小)さ(葉)の(形)成(ひ)く(く)胡(荽)
の(く)く(なり)葉(は)む(す)木(の)形(ち)や(さ)ら
小(似)く(皮)赤(く)肉(白)く(一)月(根)成
り(有)ゆ



蕺菜 和名ごんぎ

春(苗)成(出)す(茎)赤(く)く(葉)の(形)蓋(種)苗
葉(に)似(く)厚(く)肉(ま)く(有)紫(が)り(葉)蓋
一(月)成(出)す(一)月(葉)成(出)す(一)月(葉)成(出)す
用(也)



翹搖

春(苗)成(出)す(茎)赤(く)く(葉)の(形)蓋(種)苗
葉(に)似(く)厚(く)肉(ま)く(有)紫(が)り(葉)蓋
一(月)成(出)す(一)月(葉)成(出)す(一)月(葉)成(出)す
用(也)



鹿梨 和名 さるかー とがー わりの

梨の一種よく茶の形茶のよく実の天
さ香のよく味酸く少く根と
変成類に用ゆ



棠梨 和名 こがー かごがー

梨の一種よく茶の形茶のよく実の天
さ香のよく味酸く少く根と
変成類に用ゆ



木瓜 和名 からげ

樹のかさら貼梗海棠に似く大に又楨
植小よく似たり木瓜楨植実の形もよく
木瓜に似たり木瓜の形ち似く小き
枝付のよく鼻の形のまうから抱わり木瓜
ふさく丸く楨植は長く大なり二粒も
に鼻のまうから抱わり八月に熟し
ころ時より二粒もして八月に用ゆ



山楂

樹木瓜小よく枝葉まに小よく葉に五
さりわりものよく二月小また白をひく
く葉もまき木瓜より甚小き小枇杷の
大さやよく味酸く少く九月に熟し
ころ時より二粒もして八月に用ゆ



橘 和名 去ろまかうど

橘袖橙柑いししより甚混雜なり
今遠州の白輪かうどと云々の樹なり
包橘によく似く大まに葉に赤し
柑より皮がすく肌が滑なり実熟
し一方時より皮が皮をさくも至三
月を越すのち葉が用ゆ



椽子 和名 ざんごり

椽のふと二丈餘り葉は栗葉に似たり
三月月栗の木のやうなる花はひく小
ま種子乃どき実成むす帯の帯
椽のやうなるおわりとて実のまかりとつ
む樹は炭とがして法本は勝の實か
らぬよ木皮松皮とがさき用ゆ



獅實 和名 かじ

樹のふと一丈許葉は小の二種あり
いづれも大獅葉の葉に似く實も大
なり三月月栗の木のやうなる花はひく
八月月栗の木のやうなる花はひく
小ま帯の帯のやうなるもの葉の
まが成つむ木堅しといふと用りま
くく柴炭とがして木椽木小劣
まろく実成木皮とがさき用ゆ



荔枝

樹大獅葉眼樹小似く葉冬まの如
くも樹のふと実成樹のふと実成
和の産かして果よりうのく樹は
岩音かして



吳茱萸

樹のさうと一丈餘り葉椿或は芙蓉
小似り二月紅葉の細きものを開
く七八月山椒小似く細きものを結
ぶ嫩がる内落葉を以て熟すれば
葉がかりて皮むすぶ時よく細かなる
皮或は根おろして干す一用也
八九月葉落りて干す一用也



食茱萸

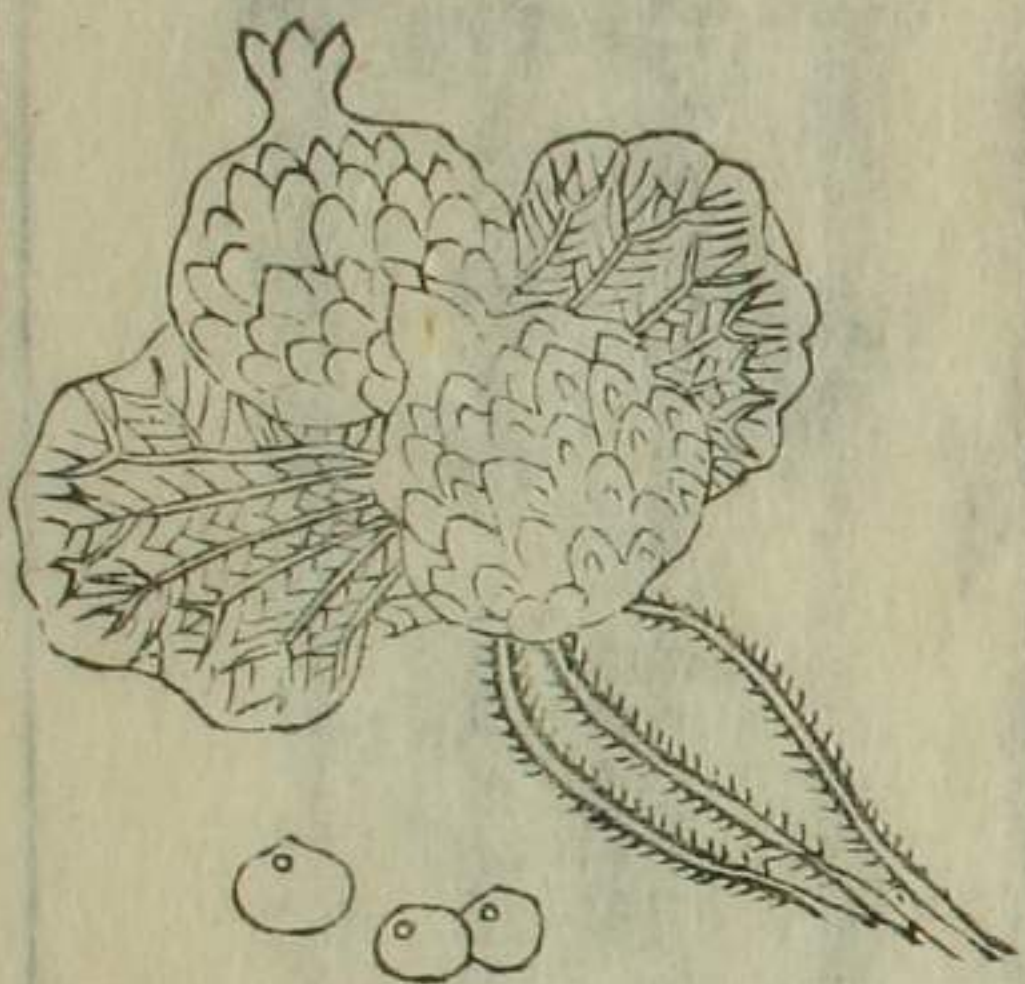
和名かすのきんせう
樹のさうと大なり葉胡麻の葉に似て
葉のどくお酢すは八月葉をむす
七八月山椒小似く大なるものを結
ぶ一と昔は山椒と名をとりて臭に似
たり八九月葉落りて干す一用也



茨子

和名おふさ

三月あ上に葉茂り出た大葉蓮葉小似て大
く破り面を背紫を葉刺あり
六月は葉のむけ付花を生ずる所の苞
まきと形ありを雞卵のどく内小肉あり肉
うちの子あり赤き玉のどく石榴小似り
実茎根を以て干す一用也



辛夷

和名ふりのふ

樹のさうと大なり葉ハ桐葉に似て狭く
四月二月花は葉の形のとくた毛あり
花はよく白きなり又うす赤あり未
かなりて相思子のやうなる葉むすぶ花を
葉はよく白きを以て干す一用也



秦皮 和名 さらりこ

樹の形まろくに似て枝葉まんなき
葉の形匙のごとく花実なし根根の
根に似たり皮紙より葉に用也



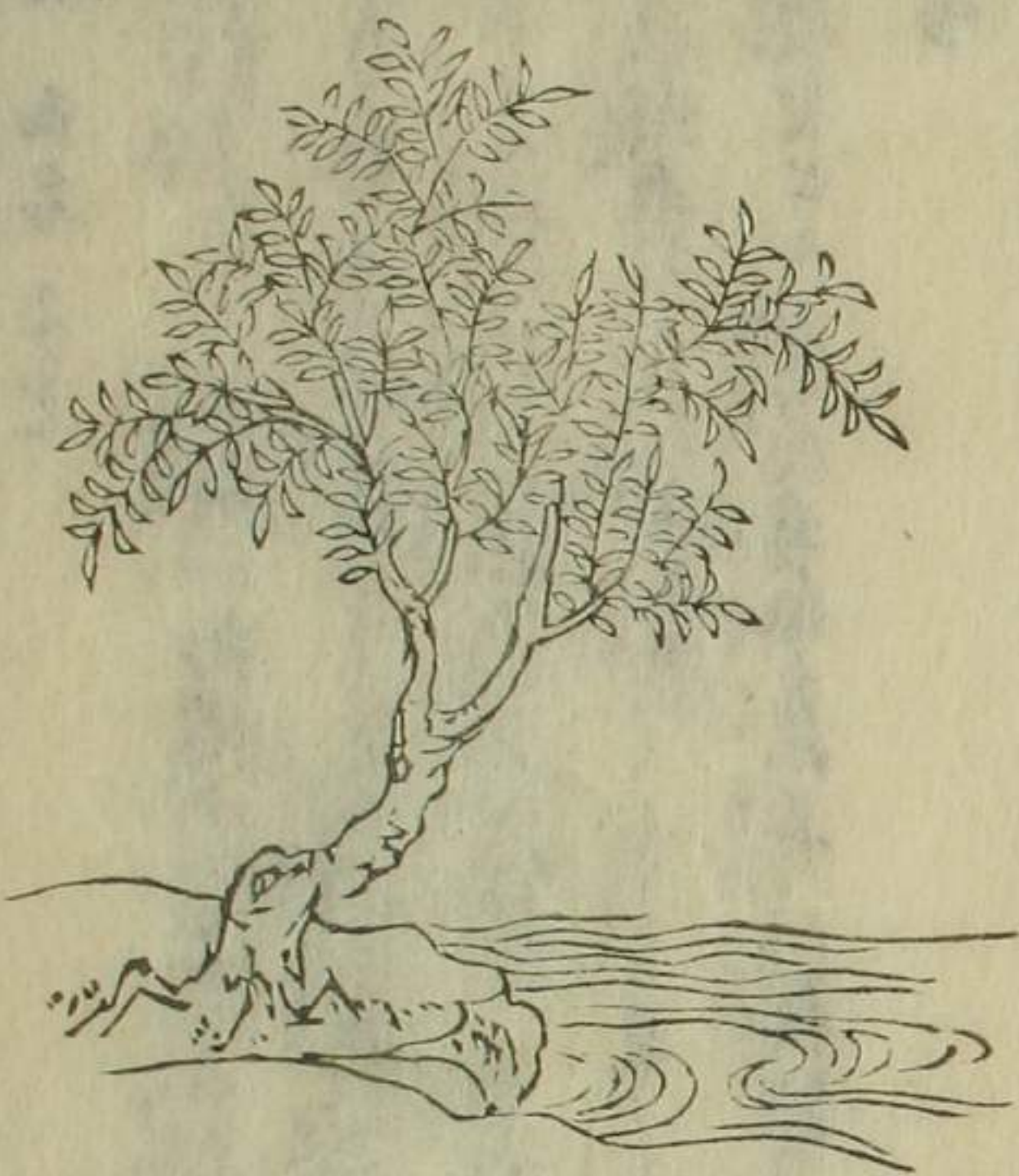
樺 和名 けやき

樹を三つ大くくくみ六丈小おふめの
葉楡小似て狭く少く少くありあり皮
或いは紙より葉に用也



水楊

大柳より似て葉つきの柳よりいろ
く枝葉柳より短く硬く柳のごとく
花付多きこに多く葉やすく枝
葉并に本皮をとり葉に用也



白楊 和名 しろやなぎ

柳の類より樹言大なり葉丸く柳の
葉に似て面多く背白く葉長くさら
るく似て風吹はひかたり葉
本皮がくべし枝葉をとり葉に用也



本草綱目 卷之七

三十五

榆 和名ゆき

種多し大木ハ同ト木葉大
かり春葉成せざるま枝の節に葉
のどき後の云々の物成るもの葉成
生る飛鳥の木の葉に似てくさくさ
白皮をとり葉六月の葉并に葉成
用也



樺木 和名かたぎら

樹大なり大木とくく一葉あり花
葉樹皮をとりさらのどくつ花のさくら
より葉小さく花も小く木皮をとり葉
に用少



烏相木 和名かきんもを

樹大にかりものあり葉青葉小
中ひろく木葉狭し六月細くむね用
さ六月葉成むすむらむまう後葉
内にこの核あり葉成むすむらむま
と葉に用ゆ仲并に葉成葉に用りとも



枳實 枳殼

樹のさく七八葉葉橙のどく木葉のど
くくく刺多し春白き花をひく秋
葉成す七月の成り葉成す九月
にさる葉殼とん何事も葉二月の葉
この別かり結果すむらむまかすこの



酸棗

樹小あり棗の一種よく木の皮肌を
た刺あり木の心赤く五月むくひ
花はと一振あり八月実成結ぶ葉の
よく丸く小く赤く味酸く
八月より仁をとり坐を炒く葉を用ゆ



郁李

和名にむめい

樹の葉と実を花も葉も刺に似く小く
子の形櫻桃のごとく三月にむくひ
月実成むす六月仁をとり葉を用ゆ
根を月用くとあり



蔓荊

和名たまご

海邊に生るる草実又桑胡類に似
く枝やうく蔓の葉の
赤くむくひよくて極成か寸七寸
実成むす六月楮子のとく八月実成
その白膜を去りて焙り用ゆ



紫荊

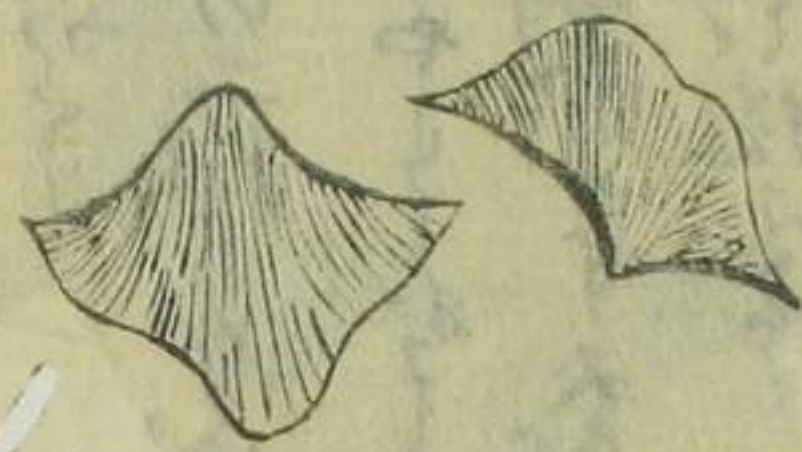
和名すまじ

樹の葉と実を花も葉も刺に似く小く
或は枝の葉に実又ハ幹小く根のよつと
録本のむくひよくて九月に実成
葉を去りて焙り用ゆ



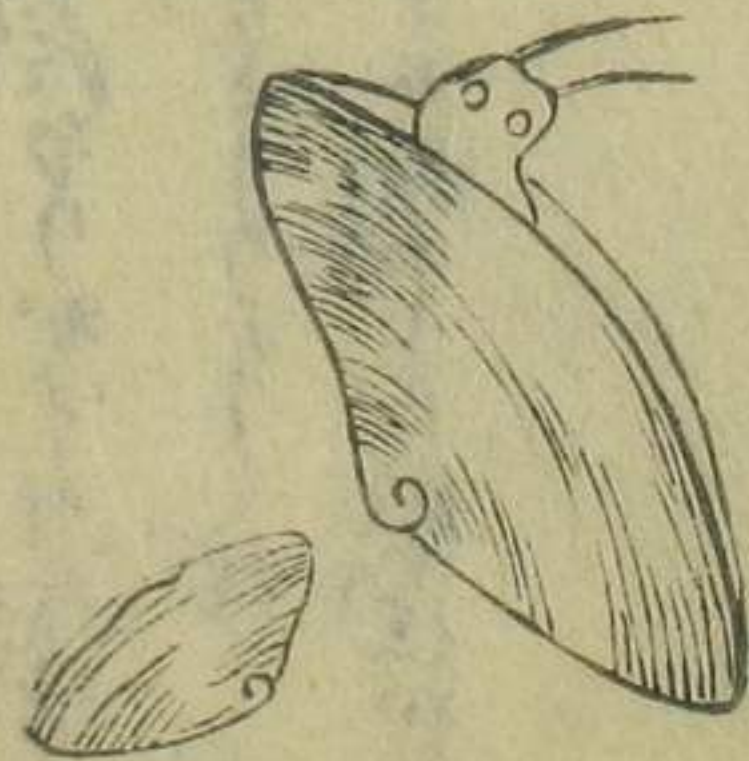
石燕 和名つむぐし

この形は燕の如く大狝一寸餘りより
後よりまらぬとく大なりは雄と
名りしとく小きと雌と云ふの中そ
無き者ありしと云ふ



蚌 和名まご

今のまごはなかりと云ふ守成は六
寸形ちがし牡蚌に似たり殻を粉
しと茶に用ひ肉は用ひること
あり



蝸 和名こまご

今のまごはなかり形ち蝸牛に似て
殻がこく小きと爛と云ふ殻を茶
用ひ又肉は用ひることあり



魚狗 和名かまご

多くは水邊にあり又さ燕の如く
飛りてとく是れと云ふと云ふ村の
毛線とて翅はまし翡翠の類なり



巧婦鳥

雀より小さく紅い羽の鳥。好まざる。翅あり。喉裏のくさ。雉のどく。林菽乃。鳥の糞。ひす。麻。くさ。樹。くさ。袋の。どく。と。さ。鶏卵。種。なり。肉。と。葉。と。皮。茶。少。用。也。



羚羊

深山の中。不生。草。か。ち。羊。の。どく。毛。粗。く。ま。う。さ。ま。く。二。つ。の。角。あり。角。は。く。り。め。の。や。う。か。る。皺。わ。り。を。節。の。如。く。一。角。は。こ。り。研。細。く。一。糸。に。用。也。



水獺

江。湖。の。石。の。窟。を。て。よ。く。魚。を。食。む。け。の。か。り。形。は。狐。に。似。く。毛。の。は。ま。ま。赤。く。尾。は。長。く。尾。の。先。は。白。く。本。に。の。り。て。は。む。肉。肝。腎。膽。髓。骨。足。皮。毛。屎。も。茶。に。用。也。



藥種製法

熟地黄

綿砂わたすの粉こなを好肉よきしの内うちにかきまを牛うしへ地黃ぢやうをいきよくひ
 たた一ひとを一本ほん煎せん示しのの丸まる編へん水すい成せいのの上うへ平へいけ
 右みぎのの煎せん示し不ふ切きささ蒸じやう一ひと酒しゆのの間まにに記しすす附つ又また右みぎのの綿わた砂す煎せんく
 しきりささせせ糸いとののここ敷しのの丸まる蒸じやうかかりり右みぎののここをを蒸じやうと
 五ごわわげげ竹たけ刀やいばををここききとと用もちゆゆかかりりはは煎せん示しのの丸まる一ひと也なり
 一ひと升しやうの内うちへ綿わた砂すのの粉こなををままじじりりまますす一ひと

乾薑

老姜らうしやう水すい示しひひたたとと三さん日にちをを出だしし一ひと皮かわ成せいをを綿わた砂す煎せん示しのの丸まるにに入い
 入い入いししてて一ひと日にちをを出だしし一ひと皮かわををけけづづりりととりり日にち平へい
 一ひと加かりり一ひと用もちゆゆ今いま煎せん示し三さん十じゆ日にち水すいををひひきき一ひとおおまま日にちににけけ
 一ひと月げつのの丸まるををまますす一ひと

半夏類

半夏散粉... 生薑汁... 白朮... 右の半夏の粉... 雞卵... 半夏ハ熱湯... 神類

神類

五月五日又ハ六月六日... 白朮百六十文... 蒼耳のちり... けふ合い... くらふ... くらふやうに...

烏梅

か... 五月

烏梅子... 核を去肉を... 五月

皂莢

軽... 一夜... 五月

松脂

松脂... 五月

竹瀝

着竹を六七寸程に切炭火の上にかき一方より流れおろし
をとり用は炭竹を用ひしとあり若竹紙用ひしとあり

煉蜜

蜜百六十目にあはす目入かきとせ刑鍋かき炭火おろし
あがる候をすくひ去味つとせと火よりおろし熱氣を去り
用ひ又い蜜紙壺おろしを壺紙熱湯の内へ入れ煮て一
日程うしてを壺紙かきの中へ滴てとるに散らさず
よしとせ

附子

先水おひくしとせ出し一紙紙に二紙行つと契灰の内へ埋
めおろしひくしとせ出し一紙紙に二紙行つと契灰の内へ埋
めおろしひくしとせ出し一紙紙に二紙行つと契灰の内へ埋
めおろしひくしとせ出し一紙紙に二紙行つと契灰の内へ埋

異國より傳りの附子ハ極或ハ之灰ガトあり少クもたひく
壺紙ハ又ハ石炭の灰ガト出シ一紙の製法のごとくし
用ひ或ハ生薬とく用ひありとあり又ハ壺紙とく製法する
かどとせとせ製法おろしとあり又ハ一方の内へ製法とせ
す一方の内へ製法ありとせ一紙ハ之の製法とく用て
此藥と製法をげしとせ又ハ壺紙と製法とせ用て

普救類方卷之七 大尾

普救類方 卷之七

四十五

享保十四歲

乙酉十一月穀旦



東都書肆

松會三四郎
出雲寺和泉掾
升屋五郎右衛門
須原屋治右衛門
萬屋清兵衛
小川彥九郎
和泉屋儀兵衛

壽梓

